

MultiProfiler

取扱説明書

目次

本取扱説明書について	3
商標	3
ご注意	4
対応機種	5
システム要件	7
1. メニュー説明	8
1-1. ピクチャーモード	8
1-1-1. ディスプレイの接続設定	10
1-2. マルチ画面	11
1-3. ビデオ入力	13
1-4. 色覚エミュレーション	13
1-5. ディスプレイ設定	14
1-6. USB 設定 (対応機種のみ)	15
1-7. ショートカット	16
1-8. バージョン情報	17
1-9. 入力名称 (対応機種のみ)	18
1-10. ホットキー (対応機種のみ)	18
1-11. エリアマーカー (対応機種のみ)	19
設定のエクスポート(対応機種のみ)	19
設定のインポート (対応機種のみ)	20
設定のインポート/エクスポートについての注意	20
2. 新しい設定を作成する	21
2-1. 画質設定の選択または画質のカスタマイズ	21
2-2. 輝度と黒レベルの調節	22
3. カスタマイズ	23
3-1. 手動設定	23
3-2. ディスプレイエミュレーション	26
3-3. 印刷エミュレーション(詳細設定)	29
3-4. フィルムエミュレーション	33
3-6. 現在の設定を編集する	36
3-5. 6色調節	38
3-7. 印刷エミュレーション	39
4. MultiProfiler のエラーメッセージ	41

本取扱説明書について

- ・本書は MultiProfiler の特徴、インストール方法および使用方法などについて説明しています。ご使用の際は対応しているディスプレイの取扱説明書も合わせてお読みください。
- ・また、弊社の Web サイトで目的別の使い方をご紹介しますので、ご活用ください。

「MultiProfiler を活用しよう」

https://jpn.nec.com/products/ds/contents/pro_wide/mpf/index.html

商標

Windows®は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

MultiSync®は、シャープ NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。

DisplayPort は Video Electronics Standards Association の商標です。

Adobe は Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

Apple、Macintosh、Colorsync は Apple Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

ご注意

- ・MultiProfiler はピクチャーモードの選択、カスタム設定時に、OS のカラープロファイル設定を自動的に更新します。その後、ディスプレイのメニューからピクチャーモード選択などの操作を行った場合には、OS のカラープロファイル設定との関連性が失われる場合があります。そのため、MultiProfiler による画質設定後にピクチャーモードの選択などをおこなう場合は、ディスプレイのメニューからでなく、MultiProfiler による操作を推奨します。
- ・MultiProfiler をお使いの場合には、カラープロファイルを使用する可能性のあるアプリケーションを一旦終了してください。カラープロファイルの保存ができないことがあります。(OS 側の色設定やカラーマネジメント対応アプリケーション)
- ・MultiProfiler 使用中はディスプレイの電源 OFF/ON などをしてしないでください。万が一 MultiProfiler 使用中にディスプレイの電源を OFF/ON するなどをしてディスプレイに不具合が発生した場合は、ご使用のディスプレイの取扱説明書を参照し、アドバンスメニューにある FACTORY PRESET を実行してください。ただしその場合、お客様が記憶させたデータは初期状態に戻ります。
- ・DDC/CI 接続をサポートしているグラフィックカードでも、ドライバによっては MultiProfiler が正常に動作しないことがあります。最新のドライバを各グラフィックカードメーカーの WEB サイトから入手してください。最新のドライバを適用しても MultiProfiler が正常に動作しない場合は、市販の USB ケーブルで PC, MAC とディスプレイを接続し、MultiProfiler を再起動してください。
- ・インストール時、Microsoft Visual C++ 2005 SP1 がインストールできない場合があります。この場合、ユーザー名が英数文字だけのユーザーアカウントなどでログインしなおすとインストールできることがあります。
- ・USB 接続と DDC/CI 接続を変更したい場合、ディスプレイ設定で正しく反映されているかを確認してください。
- ・MultiProfiler の操作画面が表示範囲外に移動した場合、MultiProfiler のタスクバーボタンを右クリックして任意の場所に移動してください。
- ・MultiProfiler で画質設定を実施した場合、ECO モードと Auto Brightness の機能が無効になります。
- ・MultiProfiler の起動中にディスプレイ電源の入切や、信号ケーブルの差し替えなどは行わないようにしてください。強制的にアプリケーションが終了することや正常に動作しなくなることがあります。
- ・USB 設定の時、処理が反映されないことがありますので切り替え処理が終了するまでお待ちください。
- ・カラーキャリブレーション・ソフトウェア SpectraView II でキャリブレーションを行ったピクチャーモードに対して個別調節もしくは 6 色調節を行った場合、カラープロファイルは SpectraViewII により保存されたものが引続き使用されます。またこれらの調節を実施後、SpectraViewII の次回起動時、もしくは PC の再起動時にキャリブレーション直後の設定に戻す確認のメッセージが表示されます。(SpectraViewII の環境設定で「ソフトの起動時に状態を確認する」が選択されている場合)
- ・SpectraView II でキャリブレーションした調節結果を破棄したい場合には、そのピクチャーモードをリセットボタンで工場出荷状態に戻すか、カスタム設定で名前を変更してください。
- ・一部の機種でカスタム機能を利用する場合、USB 接続が必要です。
- ・X841UHD/X981UHD で MultiProfiler が正常に動作しなかった場合、OSD メニューで SPECTRA VIEW ENGINE が ON になっているかを確認してください。

対応機種

・MultiProfiler は日本国内向け下記モデルをサポートしています。

・MultiSync LCD-PA231W	23 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-PA241W	24 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-PA271W	27 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-PA301W	30 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync MD301C4	30 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-P241W	24 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-P232W	23 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-P242W	24 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LDC-PA242W	42 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LDC-PA272W	27 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LDC-PA302W	30 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-PA322UHD	32 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-X841UHD	84 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-X981UHD	98 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-X651UHD	65 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-PA322UHD-2	32 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-X841UHD-2	84 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-X981UHD-2	98 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-X651UHD-2	65 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-X551UHD-2	55 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-V404	40 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-V484	48 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-V554	55 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-P404	40 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-P484	48 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-P554	55 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-V404-T	40 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-V484-T	48 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-V554-T	55 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-PA243W	24 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-P754Q	75 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-V754Q	75 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-V864Q	86 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
・MultiSync LCD-V984Q	98 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)

•MultiSync LCD-P243W	24 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
•MultiSync LCD-UN462A	46 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
•MultiSync LCD-UN462VA	46 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
•MultiSync LCD-UN492S	49 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
•MultiSync LCD-UN492VS	49 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
•MultiSync LCD-UN552	55 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
•MultiSync LCD-UN552A	55 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
•MultiSync LCD-UN552S	55 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
•MultiSync LCD-UN552V	55 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
•MultiSync LCD-UN552VS	55 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
•MultiSync LCD-UX552S	55 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
•MultiSync LCD-V554Q	55 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
•MultiSync LCD-V654Q	65 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
•MultiSync LCD-P654Q	65 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
•MultiSync LCD-P654Q	65 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
•MultiSync LCD-V654Q	65 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
•MultiSync LCD-C651Q	65 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
•MultiSync LCD-PA271Q	27 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続推奨)
•MultiSync LCD-MA431	43 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続必須)
•MultiSync LCD-MA491	49 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続必須)
•MultiSync LCD-MA551	55 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続必須)
•MultiSync LCD-M751	75 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続必須)
•MultiSync LCD-M861	86 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続必須)
•MultiSync LCD-M981	98 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続必須)
•MultiSync LCD-P435	43 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続必須)
•MultiSync LCD-P495	49 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続必須)
•MultiSync LCD-P555	55 インチ液晶ディスプレイ (USB 接続必須)

システム要件

OS	Windows: Windows 8/8.1/10/11 (32bit/64bit) MacOS X: 10.13 以降
グラフィックカード	AMD, NVIDIA, Matrox (Parheria P650 もしくはそれよりも新しい製品)のグラフィックスカードでデジタル接続を推奨。詳しくは Windows/Mac それぞれの ReadMe の「対応グラフィックカードについて」を確認ください。
色数	最大 32bit カラー
解像度	各ディスプレイの推奨解像度をお使いください
USB	すべての機能を使用するために、ディスプレイと PC を USB で接続してください。 USB 接続が不可能な場合のみ DDC/CI 通信を推奨します。

MultiProfiler をインストールするには管理者権限のアカウントが必要です。

圧縮ファイルを解凍後、Setup.exe を起動してください。



例えば Windows 版 32bit のインストール場所は、起動ドライブが C:の場合の保存場所例は C:\Program Files\NEC DISPLAY SOLUTIONS\MultiProfiler になります。

Mac 版の場合、圧縮ファイルの解凍後、Application フォルダに MultiProfiler をクリックアンドドラッグすることでインストールが完了します。(実行ファイルをそのままダブルクリックすることでも起動します。)



1. メニュー説明

MultiProfiler は操作画面左側のメニューバーから機能を選択することでディスプレイの設定をおこなうことができます。接続されているディスプレイにより、メニューバーに表示されないメニューがあります。



1	ピクチャーモード	画質に関わる設定をおこないます->1-1.
2	マルチ画面	複数画面の機能に関わる設定をおこないます->1-2
3	ビデオ入力	映像入力端子に関わる設定を行います->1-3
4	色覚エミュレーション	色覚特性の表示に関わる設定をおこないます->1-4
5	ディスプレイ設定	画質設定以外の設定をおこないます->1-5
6	USB 設定	USB 機能に関わる設定をおこないます->1-6
7	ショートカット	各機能をショートカットキーに登録して使用します->1-7
8	バージョン状態	ディスプレイとアプリに関わる情報を表示します->1-8
9	入力名称	OSD に表示される入力端子の名称を変更します->1-9
10	ホットキー	よく使う機能をディスプレイのキーに割り当てます->1-10
11	エリアマーカー	エリアマーカーをフレームまたはラインで表示します->1-11

印刷物の色味の再現など、MultiProfiler は対応ディスプレイの画質設定を拡張することができます。

またコンピューターの画質設定をディスプレイの画質設定と一致するよう自動的に管理できます。

画質設定のうち、手動設定/ディスプレイエミュレーション/印刷エミュレーションの設定については、3-1.以降を参照ください。

以下にそれぞれの機能について説明をおこないます。(画面は Windows 版のものです)

1-1. ピクチャーモード

左のメニューバーから”ピクチャーモード”を選択すると、プリセットの切り替えと画質の変更ができます。

1.ピクチャーモード

2.設定ボタン

3.リセットボタン

4.現在の調節目標のディスプレイ

5.アクティブ画面

6.輝度調節つまみ

7.黒レベル調節つまみ

8.外光補正

9.Response Improve

10.メタメリズム

11.バックライトデミング

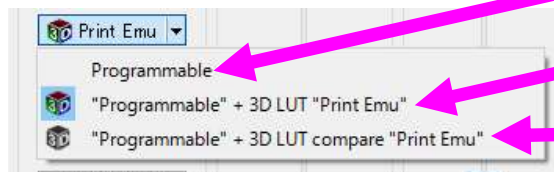
12.接続確認ボタン

※ 接続されているディスプレイにより、表示される機能は異なります。

1.ピクチャーモード	表示されている画質設定に切り替えることができます。設定された画質設定を使用し、カラープロファイルを生成、保存します。
2.設定ボタン	以下の作業が可能です。 新しい設定を作成する: 選択しているピクチャーモードに新しい設定を作成します。ディスプレイエミュレーション、印刷エミュレーションの設定もこちらから行います。(2項 新しい設定を作成を参照) 現在の設定を編集する: 現在選択しているピクチャーモードに対して、色域、白色点、輝度を個別に調節できます。カスタム設定を行なった後の微調節をおすすめします。調節できる項目はピクチャーモードに設定されている内容によって異なります(→ 3-4項 個別調節 参照) 6色調節: 現在選択しているピクチャーモードに対して、色相、彩度、明度の6色調節が行えます。(→ 3-5項 6色調節 参照)
3.リセットボタン	選択されたピクチャーモードを初期設定にリセットします。
4.現在の調節目標のディスプレイ	現在調節目標となっているディスプレイが表示されます。複数台接続している場合、調節するディスプレイを切り替えることができます。
5.アクティブ画面	PIP/PBP 機能が利用されているとき表示されます。設定を反映したいアクティブ画面を選択することができます。 ※アクティブ画面で選択された画面の設定でOSのカラープロファイルが設定されます。
6.輝度調節つまみ	目標となる輝度に設定できます。 高い輝度を設定した場合、指定の輝度に到達しない可能性があります。 MultiProfiler で画質設定を実施した場合、ECO モードと Auto Brightness の機能が無効になります。
7.黒レベル調節つまみ	目標となる黒レベルに設定できます。つまみはキーボードの上下キーで細かく調節することができます。
8.外光補正	外光反射で画面が黒浮きしすぎないように、黒レベルの計算に外光センサー値を反映します。外光測定は出画時や画質変更時などに行われます。推奨はオフです。
9.Response Improve	液晶の応答速度を向上させ、動画表示時の残像感を低減する機能です。推奨はオンです。
10.メタメリズム	異なるディスプレイに同じ画質を設定し、白色ずれが気になる際にお試しください。両方のディスプレイをオン設定することで 色ずれを改善します。表示色が微妙に変化するため、キャリブレーション結果を重視する際はオフを設定してください。推奨はオフです。
11.バックライトデミング	黒画面の光漏れを抑制するため、映像が暗い領域を検出しバックライトを減光します。カラーマッチング時、または暗部の黒つぶれが気になるときはオフします。
12.接続設定ボタン	ディスプレイの接続設定の画面が表示されます。MultiProfiler のインストール後にシステム変更を行ったとき、ディスプレイの状態を再確認できます。(→ P7 1-1-1 項ディスプレイの接続確認参照)

・3D-LUT エミュレーションの切替（対応機種のみ）

印刷エミュレーションやフィルムエミュレーションなど、3D-LUT データの適用を行う機能です



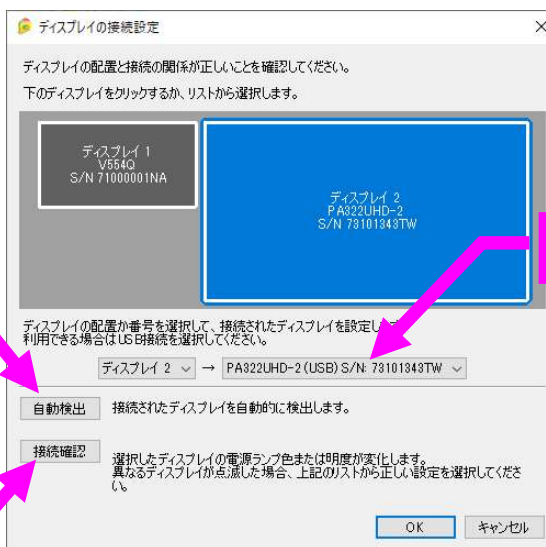
1.オン

2.オフ

3.比較

1.オフ	3D-LUT データを反映せず、元のピクチャーモードで表示します
2.オン	選択中のピクチャーモードに 3D-LUT データを反映します
3.比較	オン/ オフの差分をグレーで強調表示します。色域内、色域外の確認ができます。

1-1-1. ディスプレイの接続設定



1.自動検出ボタン

2.ディスプレイリスト

3.接続確認ボタン

接続確認ボタンをクリックすると、ディスプレイの接続確認の画面が表示されます。

もし複数のディスプレイを使用しているにもかかわらずディスプレイ選択ウィンドウの表示と異なっている場合にはディスプレイの設定や構成を確認してください。

画面の青い「ディスプレイ」をクリックするとディスプレイリストに選択されたディスプレイが表示されます。

1.自動検出ボタン	自動的にディスプレイを検出してウィンドウ上に配置します。
2.ディスプレイリスト	選択されているディスプレイが表示されます。
3.接続確認ボタン	ディスプレイとコンピューターが正しく認識されているかテストします。ディスプレイを選択してからボタンをクリックしてください。選択したディスプレイの電源ランプの色が変化する、またはディスプレイの明る도가変化します。もし選択したディスプレイが変化しなかった場合、ディスプレイリストを使って設定変更してください。

（注意）ディスプレイの設定（クローン設定やパン設定など）により、ディスプレイを正しく認識できないことがあります。

この場合、一旦 MultiProfiler を終了してディスプレイの設定をディスプレイの独立設定にいただき、MultiProfiler を再起動してください。

1-2. マルチ画面

左のメニューバーから”マルチ画面”を選択すると、子画面機能の設定ができます。

使用される機種や設定により画面に表示される内容が異なります。

下記は PIP を選択した場合に設定できる項目です。

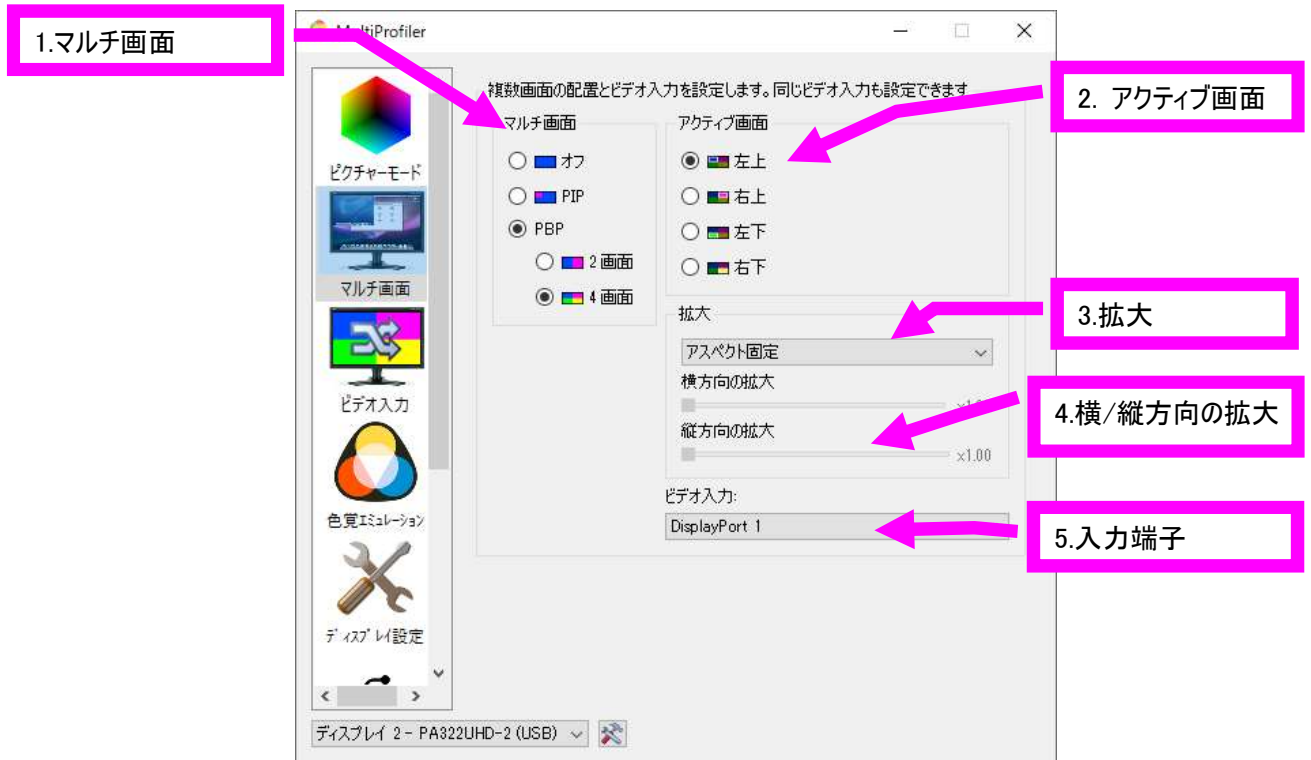


例：PA241W の PIP 設定画面

1.マルチ画面		ピクチャーインピクチャー表示を行い、子画面の設定ができます。
	PIP	通常画面内に子画面を表示する機能です。 PICTURE IN PICTURE
	PBP Aspect	親画面と子画面を等分し、縦横比を変えずに表示する機能です。 PICTURE BY PICTURE ASPECT
	PBP Full	親画面と子画面を等分し、画面いっぱいに表示する機能です。 PICTURE BY PICTURE FULL
2.子画面の大きさ		PIP が選択されているとき、子画面の大きさを小、中、大から選択することができます。
3.子画面の横位置		PIP が選択されているとき、子画面の表示場所をつまみで水平に移動させることができます。
4.子画面の縦位置		PIP が選択されているとき、子画面の表示場所をつまみで垂直に移動させることができます。
5.子画面のビデオ入力		子画面の入力に使用するビデオ入力端子を選択することができます。
6.子画面のピクチャーモード		子画面のピクチャーモードの設定ができます。
7.子画面の色覚エミュレーション		P 型、D 型、T 型、グレースケールの中から色覚の特性を選択することができます。 親画面と同じピクチャーモードを選択している場合、機能しません。

※ディスプレイにより、子画面の設定ができない入力端子があります。詳しくは対応機種の取扱説明書をご確認ください。

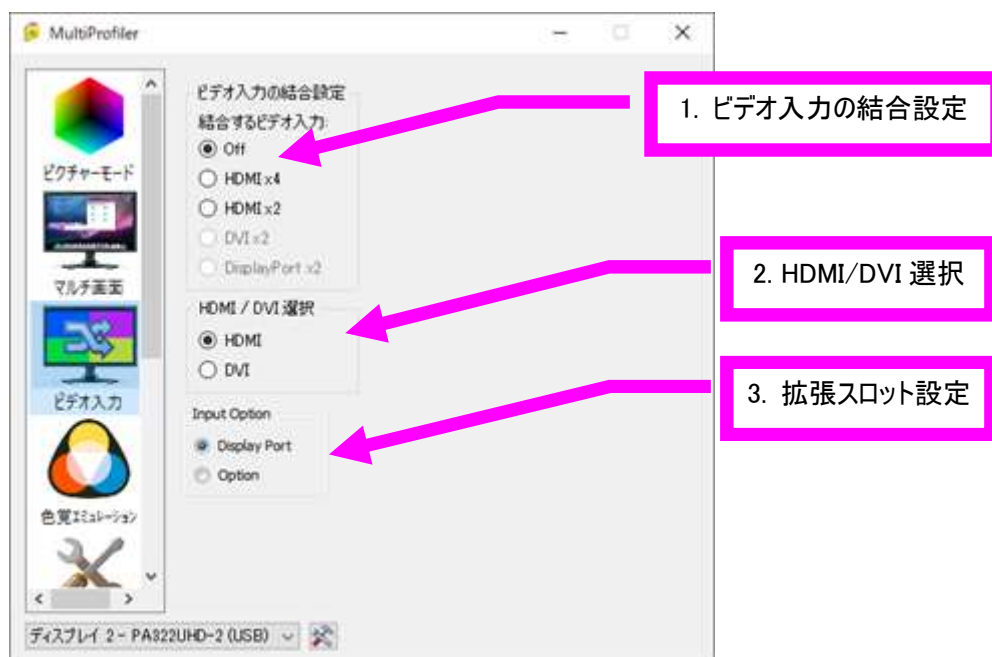
下記は PBP を選択した場合に設定できる項目です。



例: PA322UHD-2 の PBP 設定画面

1.マルチ画面	ピクチャーインピクチャー表示を行い、子画面の設定ができます。	
	PIP	通常画面内に子画面を表示する機能です。(2/3 画面)
	2 画面	PICTURE IN PICTURE
	3 画面	
	PBP	親画面と子画面を等分し、縦横比を変えずに表示する機能です。
2 画面	PICTURE BY PICTURE ASPECT	
	3 画面	
	4 画面	
PBP Full	親画面と子画面を等分し、画面いっぱいに表示する機能です。	
	PICTURE BY PICTURE FULL	
2.アクティブ画面	設定を変更したい画面を選択する機能です。	
3.拡大	アクティブ画面で選択された画面の表示される画面の拡大率を変更する機能です。 (Off/Full/Aspect/カスタマイズ)	
4.水平/垂直方向の拡大	アクティブ画面で選択された画面について3項でカスタマイズを選択した場合、水平方向と垂直方向の拡大率を変更する機能です。(3倍まで)	
5.入力端子	アクティブ画面で選択された画面の入力を設定する機能です。	

1-3. ビデオ入力



1. ビデオ入力の結合設定	複数の信号を並べて1つの画面として表示する場合に設定する機能です。
2. HDMI/DVI 選択	信号を選択します。HDMI と DVI は同時に表示できません。初期設定は HDMI です。
3. 拡張スロット設定	オプションボードを使用する場合、必要に応じてこの設定を変更してください。 対応可能なオプションボードについては販売店にお問い合わせください。

1-4. 色覚エミュレーション



1. 色覚エミュレーション	様々な人が見た際の 配色の見やすさを確認する機能です。 P 型、D 型、T 型、グレースケールの中から色覚の特性を選択することができます。
---------------	--

1-5. ディスプレイ設定

左のメニューバーから”ディスプレイ設定”を選択すると、画質設定以外の設定ができます。



1.ランプ色	電源ランプの色を変更することができます。
2.明度	電源ランプの明るさを調節することができます。(XxxxUHDモデルは最大、最小(オフ))
3.ムラ補正レベル	白画面を表示した際などに目立ちやすい、画面内の色ムラ・輝度ムラを均一に補正する機能です。6段階に調節できます。
4.画面を白にする	ムラ補正の効果を確認するため、白画面を表示します。元に戻るには Esc キーか左上の X ボタンを押します。
5.プロファイルの自動生成	選択されたピクチャーモードごとにカラープロファイルを作成し、OSの色管理設定を随時更新します。ディスプレイのキー操作や OSD 変更は反映されません。推奨はオンですが、カラープロファイルの反映には、ブラウザや画像編集アプリケーションの再起動が必要な場合があります。
6. 内蔵カラーセンサーを使用する	ディスプレイ内部のカラーセンサーを使用し、ウォームアップ中や長期使用に伴う色ずれを補正する機能です。推奨はオンです。(対応機種のみ表示)
7. パワーセーブタイマー	無信号状態が 2 時間継続すると、ディスプレイ主電源を切る省電力機能です。再び使用する際はディスプレイ前面の電源キーを押してください。
8.電源ランプの色 (対応機種のみ)	電源ランプの色を調節します。 青または緑 ピクチャーモードごとに設定:アクティブ画面でピクチャーモードにより変更 ピクチャーモードの状態ごとに設定:アクティブ画面でピクチャーモードの状態により変更 ビデオ入力ごとに設定:アクティブ画面で選択しているビデオ入力により変更

1-6. USB 設定 (対応機種のみ)

左のメニューバーから”USB 設定”を選択すると、各入力端子に応じて USB ハブの接続先を割り当てられます。

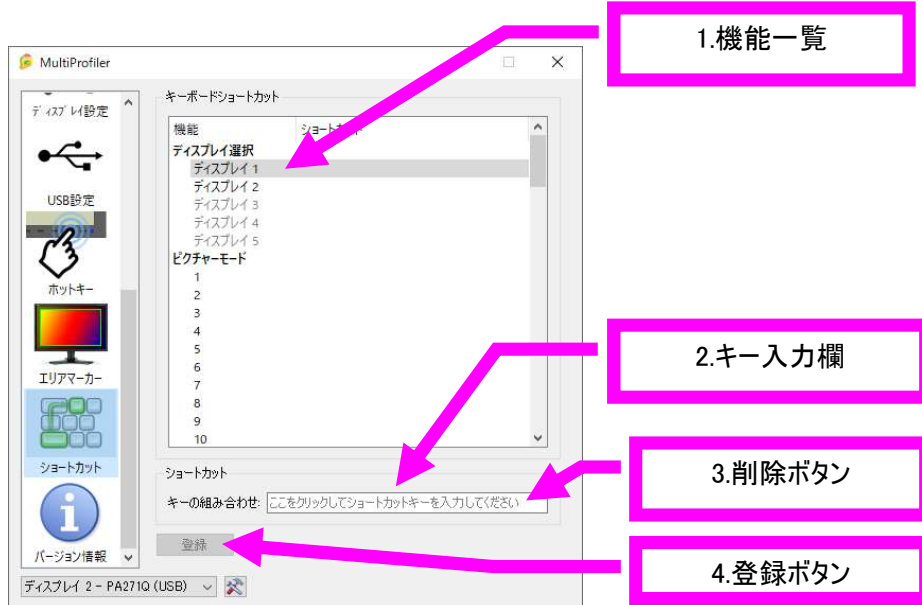


注意)

- ①USB ハブの設定を切り替える場合には、事前に本機に接続した USB 機器を停止させてください。一部の USB 機器の場合、この操作をおこなわないと機器の破損やデータの消失の原因になる場合があります。
- ②どちらかひとつの USB ハブのみにコンピューターが接続されている場合は、USB SELECTION の設定に関係なく、接続されているポートが有効になります。

1-7. ショートカット

MultiProfiler で設定可能な機能をショートカットキーに登録することができます。MultiProfiler が起動中(最小化含む)に機能が有効になります。



1.機能一覧	登録する機能を選択します。また登録した機能が表示されます。
2.キー入力欄	機能一覧から機能を選択した後でキー設定欄をクリックするとショートカットキーが仮登録できます。仮登録後、斜体で表示されます。最大3つのキーを組み合わせ設定することができます。
3.削除ボタン	登録された設定を削除することができます。
4.登録ボタン	仮登録したショートカット機能をMultiProfilerに登録します。斜体の文字が通常の文字に変われば登録完了になります。

※OS により登録できないキーや登録されても使えないキーがあります。

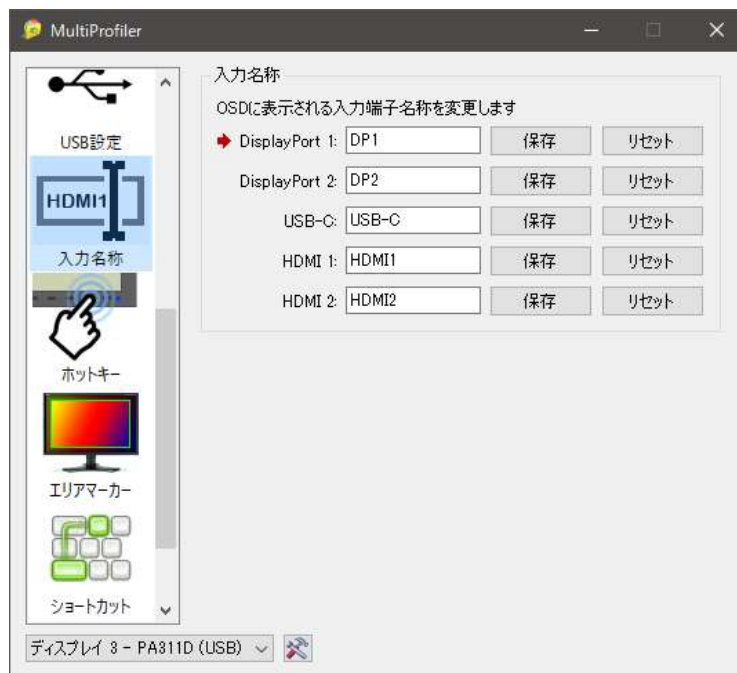
1-8. バージョン情報

左のメニューバーから”バージョン情報”を選択すると、各種の情報を確認することができます。

1.更新の確認	アップデートが可能な場合、情報が表示されます。(ご利用にはネットワーク環境が必要です)
2.設定の再同期	ディスプレイ設定を読み出し、MultiProfiler設定を更新します。ディスプレイのキー操作やOSD変更を行った際に使用します。
3.インポート	現在のディスプレイ設定を保存されたディスプレイ設定ファイルの設定に変更する際に使用します。
4.エクスポート	現在のディスプレイ設定を ディスプレイ設定ファイル に保存します。設定のバックアップ、または別ディスプレイへの設定コピーができます。

1-9. 入力名称 (対応機種のみ)

OSD に表示される入力端子の名称を変更し、接続機器の名称などを割り当てることができます。
半角文字にてアルファベット、数字、一部の記号が使えます。



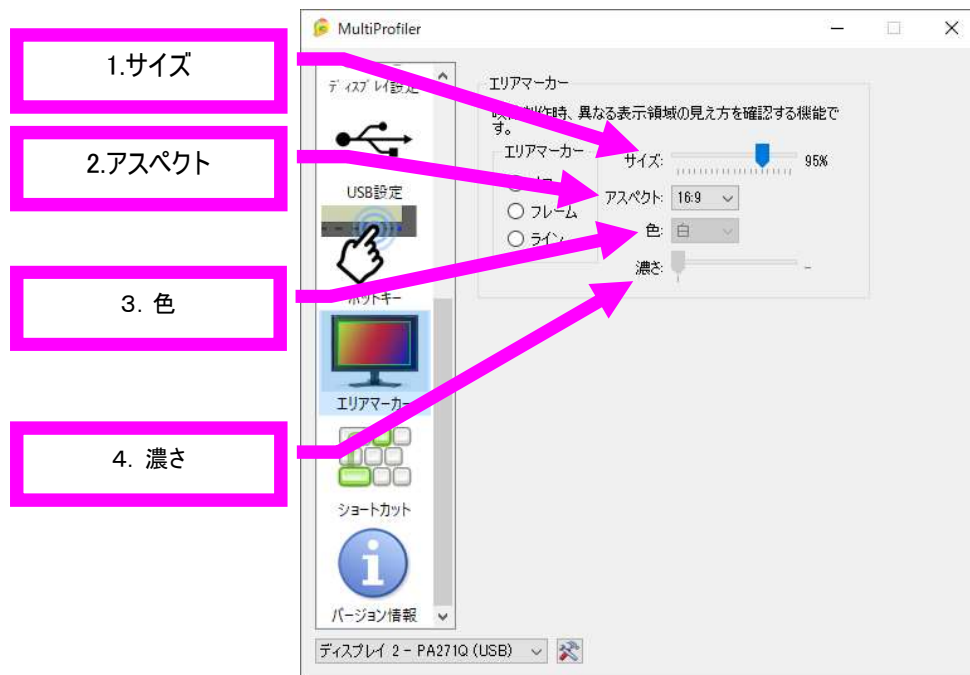
1-10. ホットキー (対応機種のみ)

よく使うピクチャーモードや OSD 機能などを、[Menu] キーを除くディスプレイのキーに割り当てることができます。
電源キーを無効にするなど、特定の機能を制限することもできます。



1-11. エリアマーカ (対応機種のみ)

エリアマーカをフレームまたはラインで表示します。



1. サイズ	エリアマーカの大きさを設定します。
2. アスペクト	エリアマーカのアスペクト比を設定します。
3. 色	エリアマーカのラインの色を設定します。
4. 濃さ	エリアマーカのフレームの濃さを設定します。

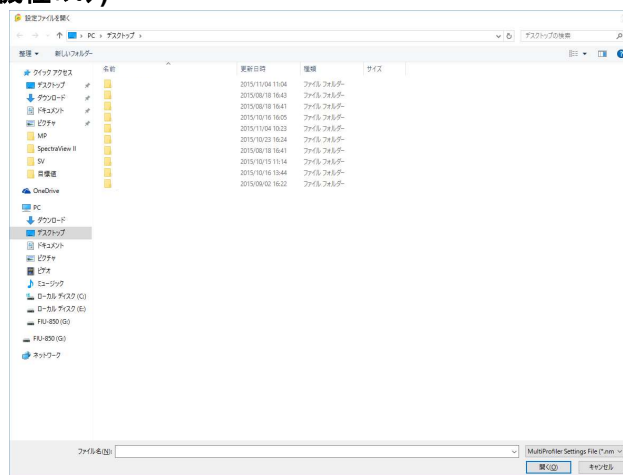
お知らせ: ラインで表示した場合、長時間表示すると液晶パネルに残像が残ることがあります。フレームで表示すると残像の発生を抑えることができます。

設定のエクスポート(対応機種のみ)



1. すべてを解除	選択されている設定をすべて解除します。
2. すべて選択	選択可能な設定をすべて選択します。
3. 開始	ディスプレイの設定情報を<*.nmps>ファイルとして保存することができます。
4. キャンセル	キャンセルボタンを押すと、設定を保存せず、ウィンドウを開いた直後の状態に戻ります。

設定のインポート (対応機種のみ)



他のディスプレイの設定をエクスポートされた情報を取込むことで反映することができます。

設定のインポート/エクスポートについての注意

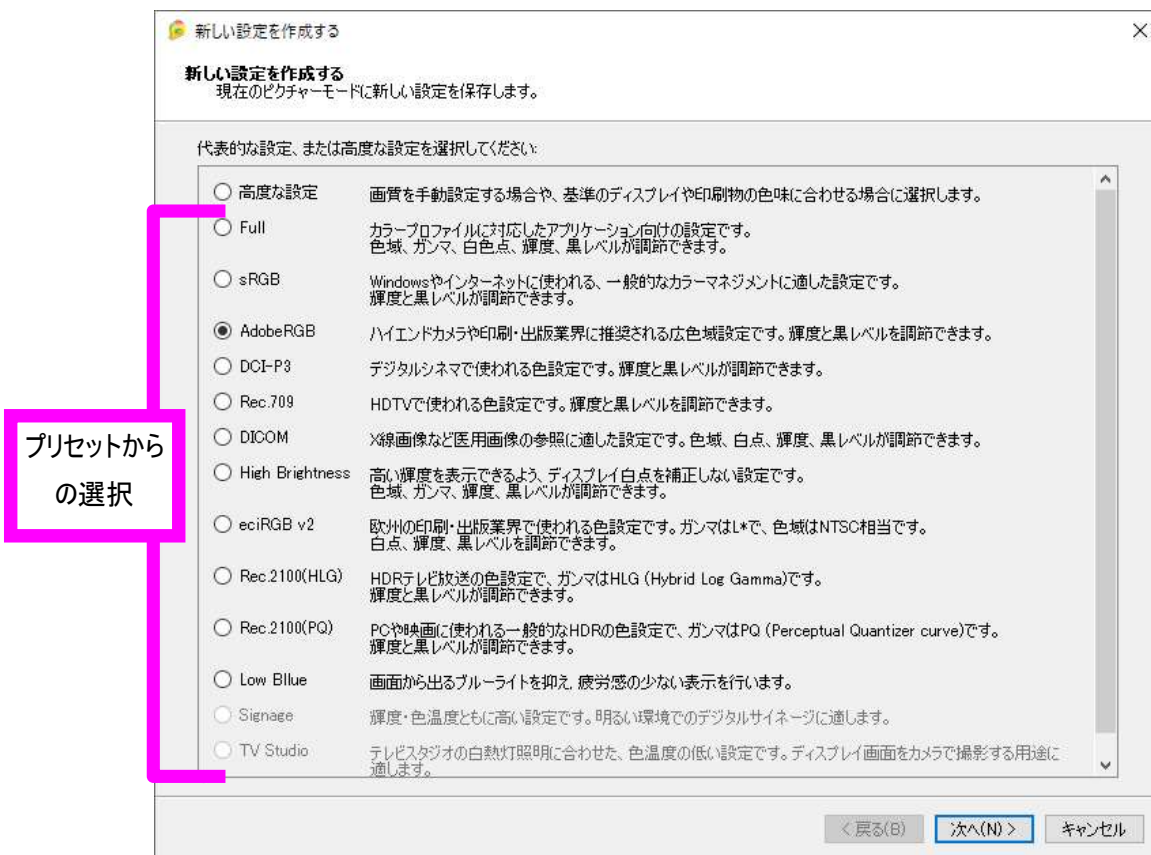
- ①エクスポートされた設定をディスプレイにインポートする際、画質設定ウィザードで選択できない設定(グレーアウト表示)については、インポートすることができません。(例 PA302W の Adobe® RGB 設定を P232W にインポートすることはできません)
- ②お使いの環境により、信号ケーブルだけの接続の場合通信エラーを起こす可能性があります。USB 接続を推奨します。
- ③SpectraViewII でキャリブレーションされた設定はカラーセンサーで実測した結果のため、インポートすることができません。同じ条件、センサーでキャリブレーションを実施してください。
- ④機種ごとの組み合わせによりマルチ画面設定などインポートができないことがあります。その際には手動で設定してください。(PA322UHD と他機種間)

2. 新しい設定を作成する

1-1.ピクチャーモードの「8.カスタム設定ボタン」を押すと画質設定を変更することができます。

2-1. 画質設定の選択または画質のカスタマイズ

画質設定をお好みの状態に変更することができます。(選択できない設定はグレー表示されます)



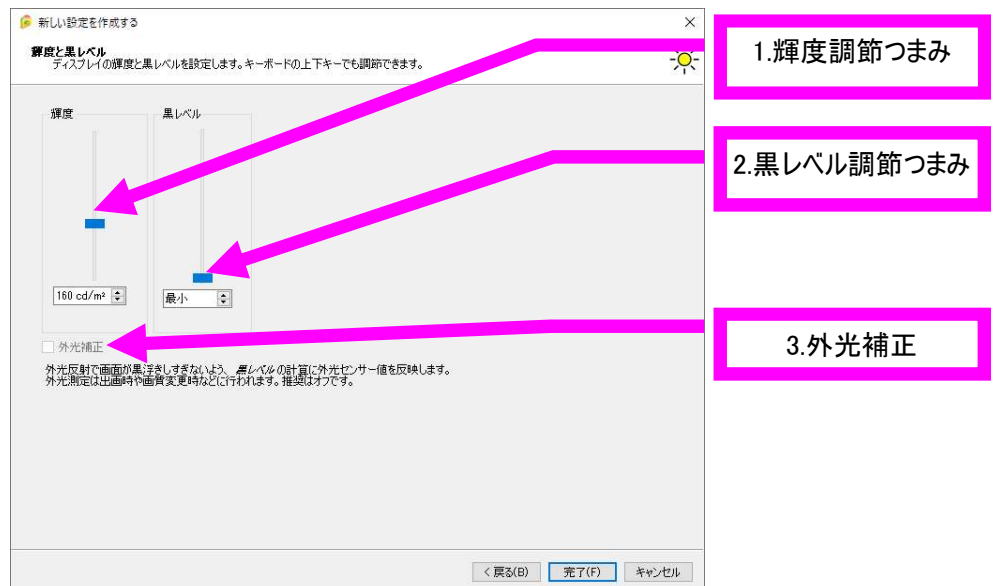
画面は PA271Q 接続時の表示例です。

高度な設定	任意の設定	詳細な設定を行います。ディスプレイエミュレーションや印刷エミュレーションも設定できます。(→P12.3. カスタマイズ参照)
sRGB	プリセットからの 選択	Windows やインターネットに使用される一般的なカラーマネジメントに適した設定です。動画の表示などの表示に推奨されます。
Adobe® RGB		米国アドビシステムズが提唱しているハイエンドカメラや印刷・出版業界に推奨される高色域設定で、印刷物の再現性などに優れ、カラーマネジメント環境で推奨されています。
DCI		デジタルシネマに適した状態で表示
REC-Bt709		HDTV色空間規格に準じた設定
High Brightness		工場出荷設定です。最も高輝度な表示が可能であり、また輝度が同じ場合には、他の設定に対して最も消費電力が低い設定です。 ※SVモデルの場合、工場出荷設定が異なります。
eci RGB v2		ヨーロッパの印刷・出版業界などで主に用いられる規格で表示
LOW BLUE		画面から発光されるブルーライトを低減し、目に優しい表示に調節できます。
FULL		色変換を行わず、液晶ディスプレイ本来の色域で表示します。

		使用する場合は付属のユーティリティーディスク内のカラープロファイルをコンピューターにインストールしてください。
DICOM		X線画像の表示など医用画像を参照するのに適した画質設定です。 (PA231WはDICOM simになります)
REC.2100(HLG)		HDRテレビ放送の色設定で、HDR 映像に適した設定です。
REC.21000(PQ)		PCや映画に使われる一般的なHDRの色設定でパッケージコンテンツやインターネット動画配信サービスなどのHDR 映像に適した設定です。
Signage		デジタルサイネージなどの明るい環境での使用に適した、高輝度・高色温度の色設定です。
TV Studio		モニターの画面がカメラで撮影されるようなスタジオ撮影に適した色設定です。TV スタジオの照明環境に合った色合いで表示します。

2-2. 輝度と黒レベルの調節

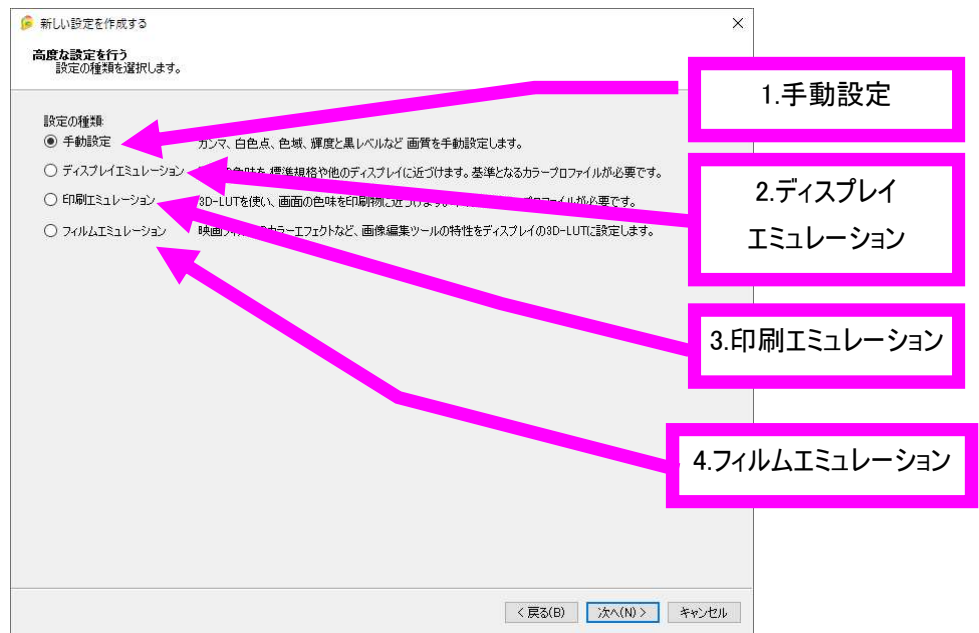
プリセットからの選択をした場合、輝度と黒レベルの調節が可能です。ディスプレイの画質設定表示の脇に”EDIT”と表示されます。



1.輝度調節つまみ	目標となる輝度に設定できます。つまみはキーボードの上下キーで細かく調節することができます。高輝度の設定の場合、ディスプレイの輝度が到達しない可能性があります。この場合、数値の下にアイコンが表示されます。
2.黒レベル調節つまみ	目標となる黒レベルに設定できます。つまみはキーボードの上下キーで細かく調節することができます。
3.外光補正	外光反射で画面が黒浮きしすぎないように、黒レベルの計算に外光センサー値を反映します。外光測定は出画時や画質変更時などに行われます。推奨はオフです。

3. カスタマイズ

4つの方法で画質をカスタマイズすることができます。

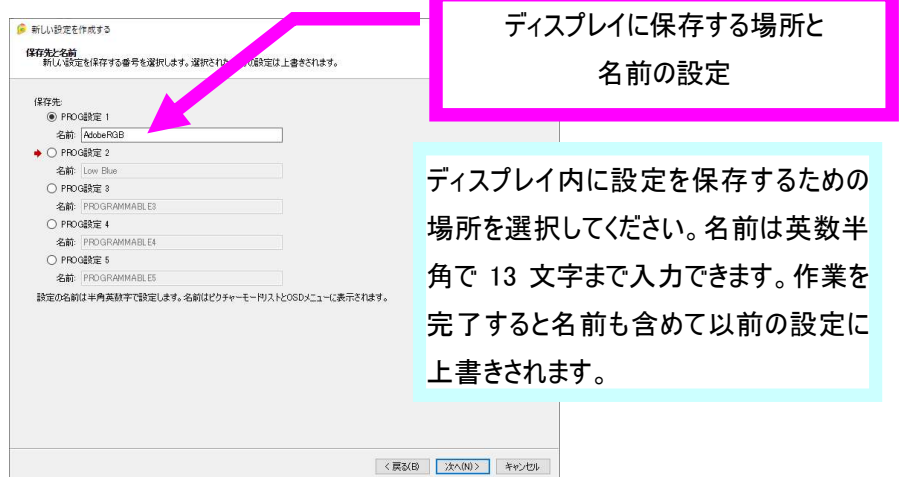


1.手動設定	ガンマ値、白色点、色域、輝度と黒レベルを設定できます。→3-1.手動設定
2.ディスプレイエミュレーション	画面の色味を標準規格や他のディスプレイに近づけます。基準となるカラープロファイルが必要です。→3-2.ディスプレイエミュレーション
3.印刷エミュレーション (詳細設定モード)	画面の色味を印刷物に近づけます。印刷機のカラープロファイルが必要です。 →3-3.印刷エミュレーション
4.フィルムエミュレーション	映画フィルムのカラーエフェクトなど画像編集ツールの特性をディスプレイの3D-LUTに設定します。→3-4.フィルムエミュレーション

3-1. 手動設定

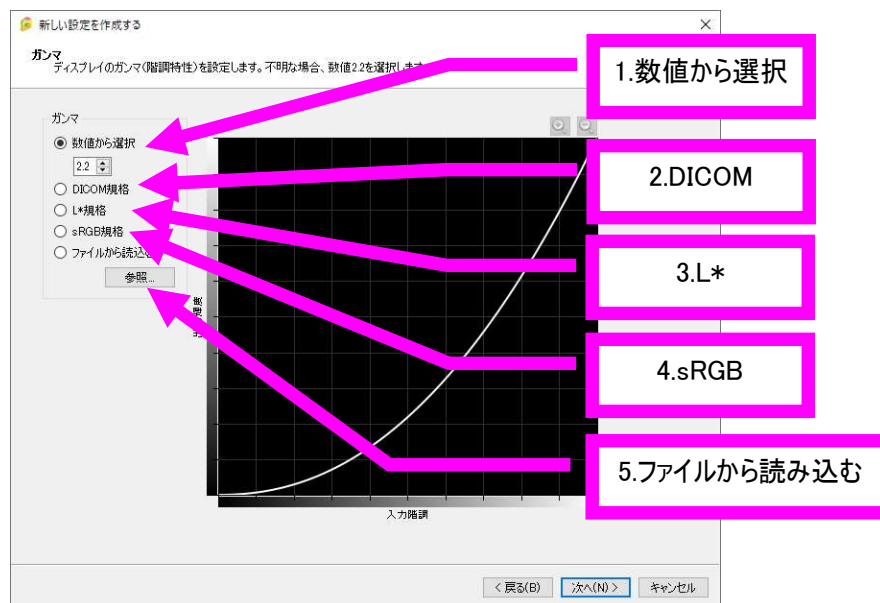
ガンマ値、色域、白色点、輝度と黒レベルを設定できます。

Step1.設定の保存場所の選択



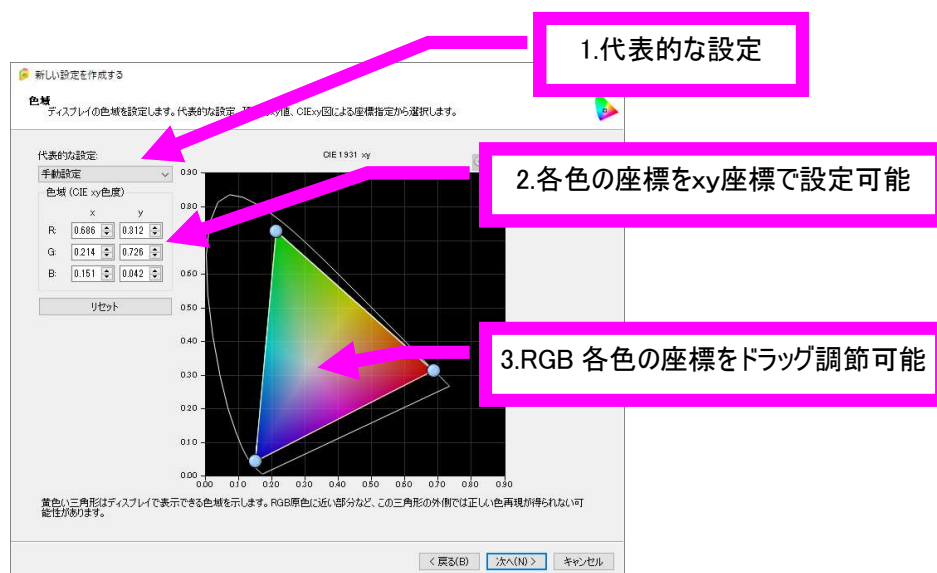
※保存できる設定数は機種によって異なります。

Step2.ガンマの選択



1.数値から選択	ガンマの値を 0.5 から 4.0 まで 0.1 単位で設定できます。設定が反映されないときには一旦キャンセルボタンを押してから、再度設定をおこなってください。
2.DICOM	医療業界で一般的な DICOM GSDF(Grayscale Standard Display Function)に調節します。
3.L*	L*a*b*表示系で使われる輝度特性です。
4.sRGB	sRGB 用の設定です。
5.ファイルから読み込む	テキストファイルからガンマ設定を読み込むことができます。フルカスタムでは使用できません。

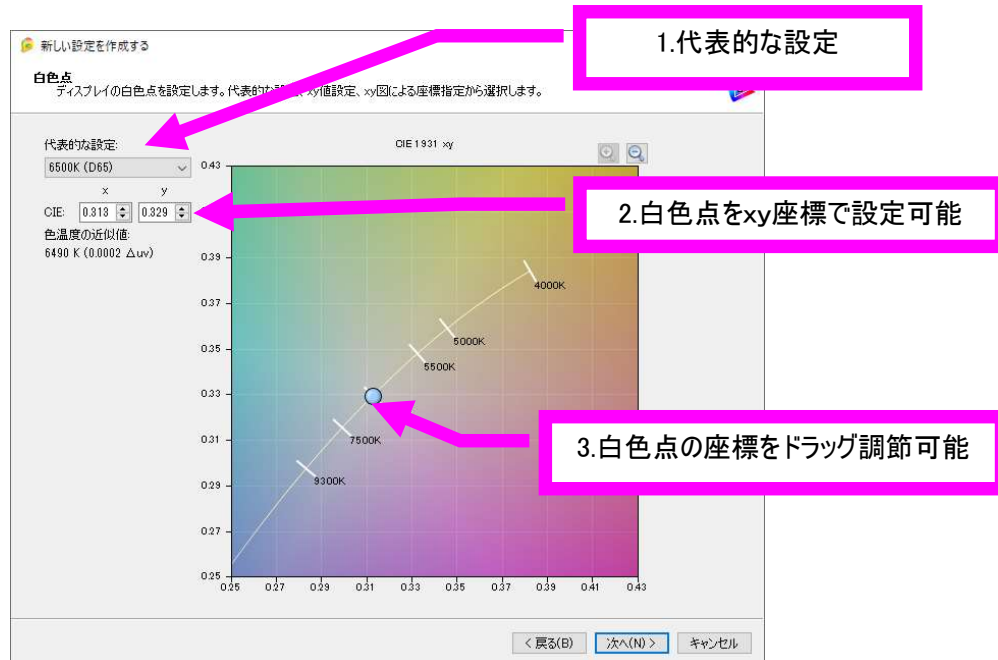
Step3.色域の設定



1.代表的な設定	Adobe® RGB ,sRGB, EBU ,SMPTE-C ,DCI ,ECI ,P22-EBU ,CRT, 手動設定、ネイティブの色域から選択。リセットボタンを押すと、以前に設定した状態に戻ります。
2.赤青緑 xy 値	各色の座標を 0.001 単位で設定できます。
3.グラフ内座標	CIExy グラフ内の赤青緑各座標をドラッグ調節することができます

ディスプレイの表示可能な領域は黄色い三角形で表示されます。この三角形の外側に色を設定した場合、RGB の原色に近い部分で正しい色再現が得られない可能性があります。

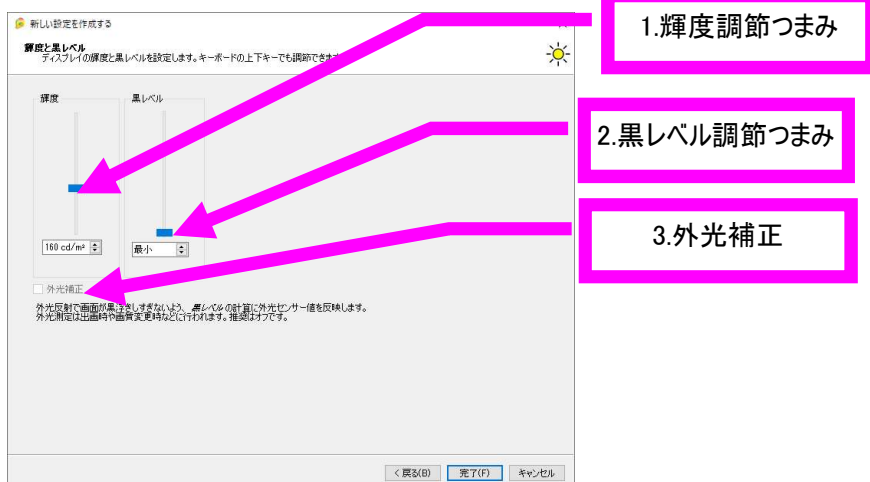
Step4.白色点の設定



1.代表的な設定	4500K, 5000K, 5500K, 6500K, 7500K, 9300K および A, B, C, E 各光源および DICOM Clear, DICOM Blue, DICOM Clear(Legacy), DICOM Blue(Legacy)から選択
2.xy 値	白色点の座標を 0.001 単位で設定できます。
3.グラフ内座標	CIExy グラフ内の白色点の座標をドラッグ調節することができます

※白色点で 7500K を選択した場合、DICOM Clear に設定されます。

Step5.輝度、黒レベルの設定



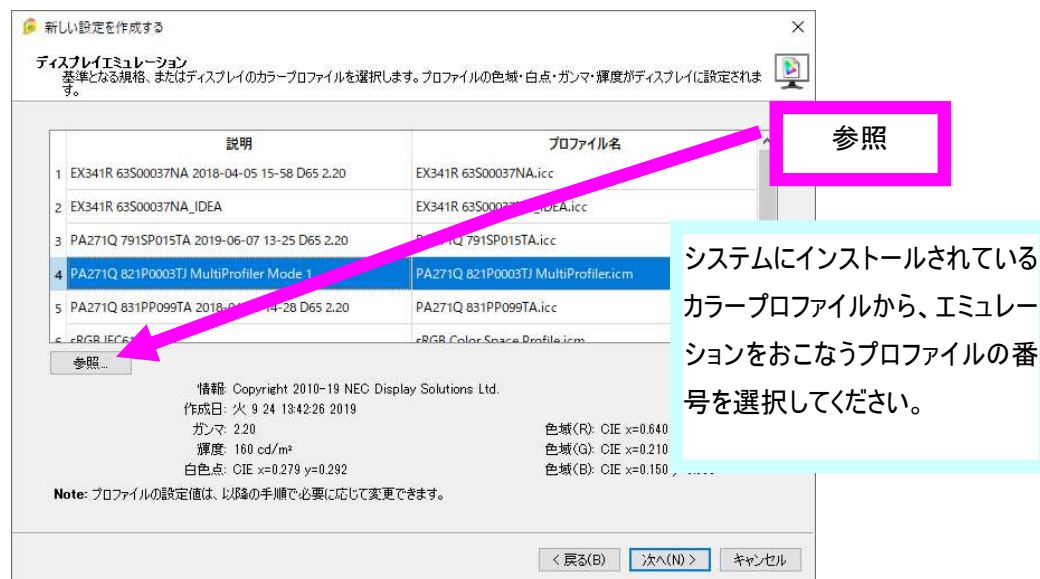
1.輝度調節つまみ	目標となる輝度に設定できます。つまみはキーボードの上下キーで細かく調節することができます。高輝度の設定の場合、ディスプレイの輝度が到達しない可能性があります。この場合、数値の下にアイコンが表示されます。
2.黒レベル調節つまみ	目標となる黒レベルに設定できます。つまみはキーボードの上下キーで細かく調節することができます。
3.外光補正	外光反射で画面が黒浮きしすぎないように、黒レベルの計算に外光センサー値を反映します。外光測定は出画時や画質変更時などに行われます。推奨はオフです。

これで設定は完了です。1-1.ピクチャーモード画面でピクチャーモードの選択、輝度、黒レベルの設定が反映されます。

3-2. ディスプレイエミュレーション

表示装置などのカラープロファイルを使って、ディスプレイ内部で計算を行い、エミュレーションを行います。

Step1. カラープロファイルの選択



(注意)ウインドウに表示されているプロファイルは、以下のフォルダに保存されています。

Win: %WINDOVS%system32%spool%drivers%color

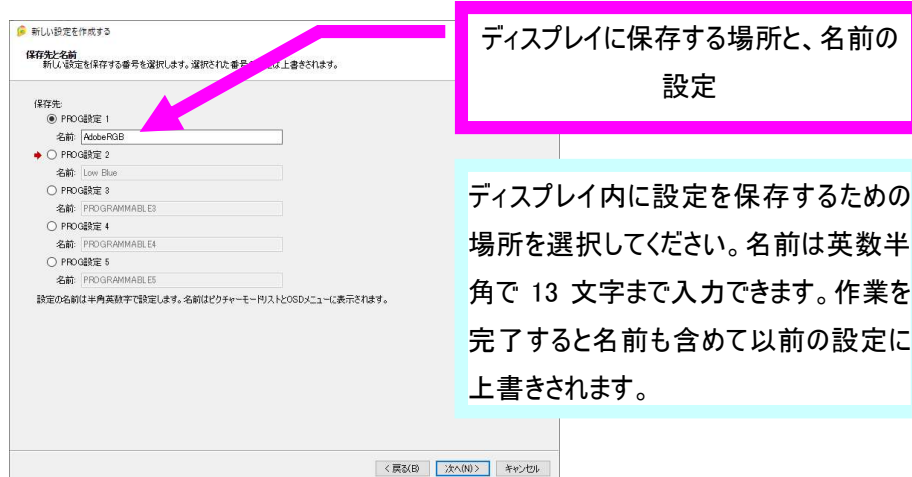
Mac: %Users% ユーザー名 "%Library%ColorSync%Profiles

表示されているプロファイル以外のプロファイルをお使いになる場合は、参照ボタンを押してからご希望のプロファイルを選択してください。なお、印刷物のプロファイルは表示されても選択できません。

カラープロファイルをコピーする場合、管理者権限のアカウントが必要な場合があります。

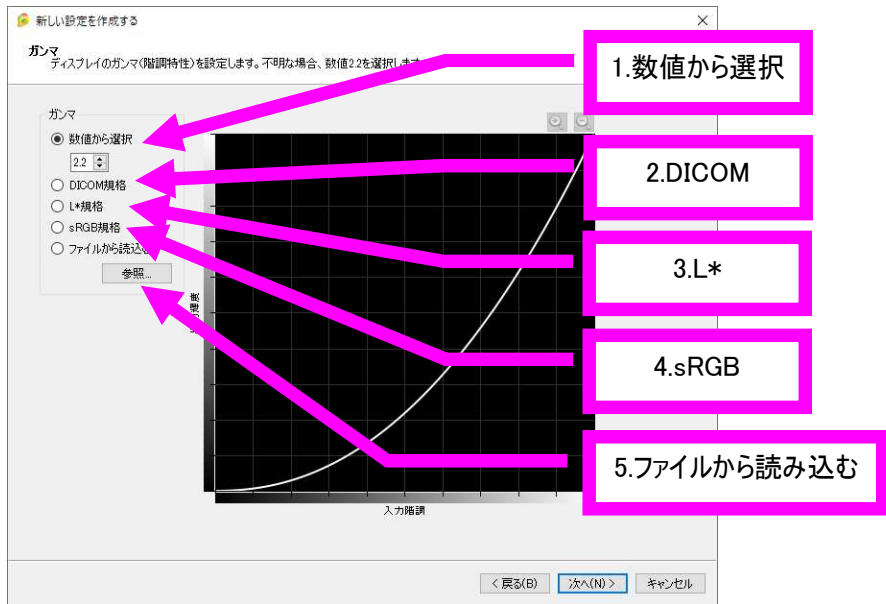
ディスプレイの調節範囲外のプロファイルの場合、設定することはできません。値の右に警告が表示されます。

Step2. 名前の登録



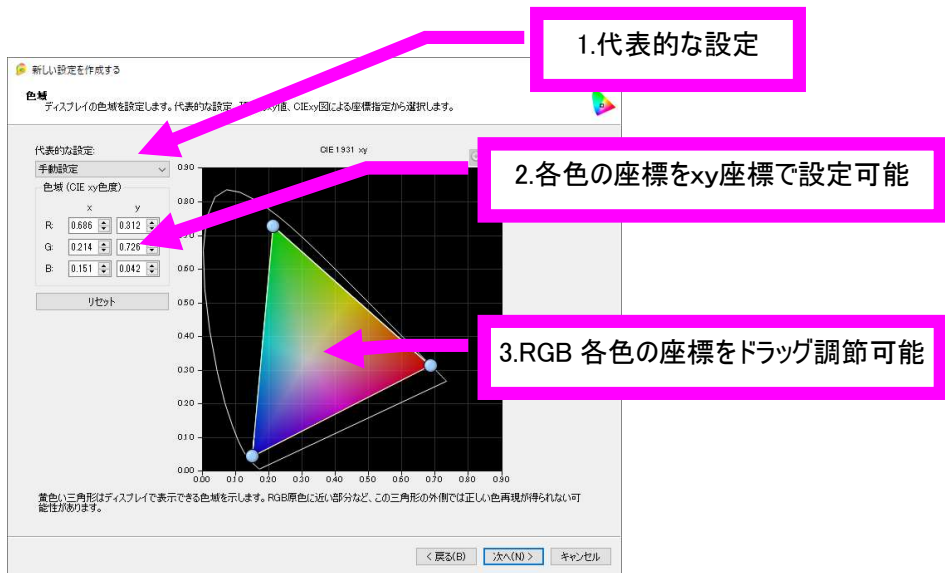
※保存できる設定数は機種によって異なります。

Step3.ガンマの選択



1.数値から選択	ガンマの値を 0.5 から 4.0 まで 0.1 単位で設定できます。設定が反映されないときには一旦キャンセルボタンを押してから、再度設定をおこなってください。
2.DICOM	医療業界で一般的な DICOM GSDF(Grayscale Standard Display Function)に調節します。
3.L*	L*a*b*表示系で使われる輝度特性です。
4.sRGB	sRGB 用の設定です。
5.ファイルから読み込む	テキストファイルからガンマ設定を読み込むことができます。フルカスタムでは使用できません。

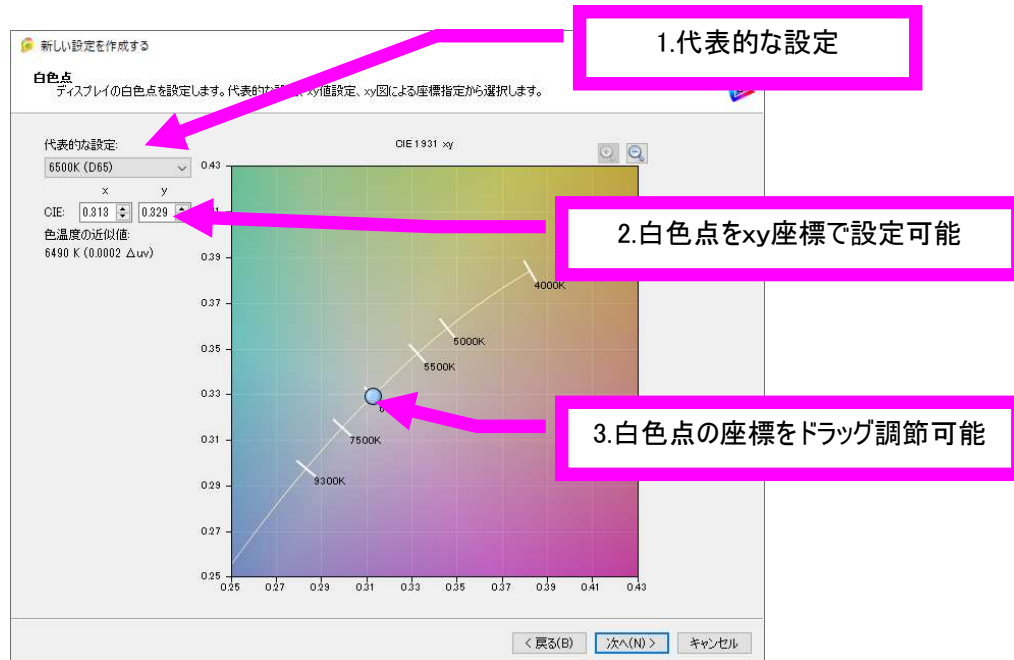
Step4.色域の設定



1.代表的な設定	Adobe® RGB ,sRGB, EBU ,SMPTE-C ,DCI ,ECI ,P22-EBU ,CRT, 手動設定、ネイティブの色域から選択。リセットボタンを押すと、以前に設定した状態に戻ります。
2.赤青緑 xy 値	各色の座標を 0.001 単位で設定できます。
3.グラフ内座標	CIExy グラフ内の赤青緑各座標をドラッグ調節することができます

ディスプレイの表示可能な領域は黄色い三角形で表示されます。この三角形の外側に色を設定した場合、RGB の原色に近い部分で正しい色再現が得られない可能性があります。

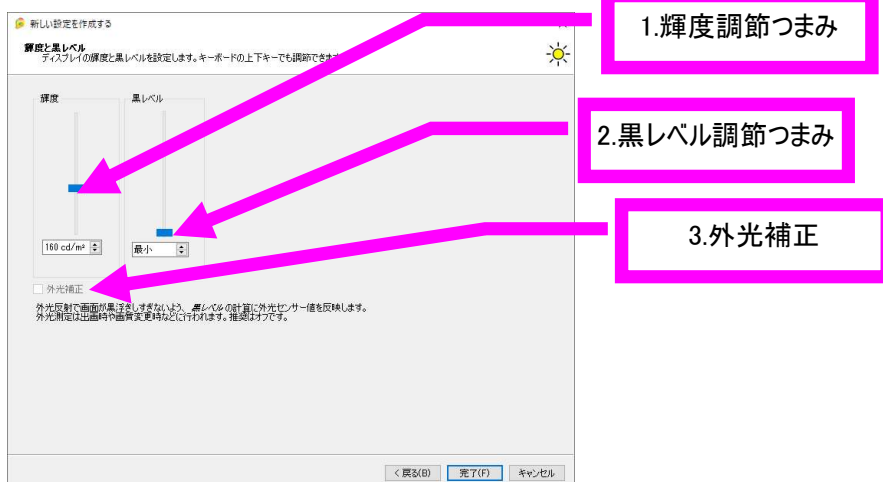
Step5.白色点の設定



1.代表的な設定	4500K, 5000K, 5500K, 6500K, 7500K, 9300K および A, B, C, E 各光源および DICOM Clear, DICOM Blue, DICOM Clear(Legacy), DICOM Blue(Legacy)から選択
2.xy 値	白色点の座標を 0.001 単位で設定できます。
3.グラフ内座標	CIExy グラフ内の白色点の座標をドラッグ調節することができます

※白色点で 7500K を選択した場合、DICOM Clear に設定されます。

Step6.輝度、黒レベルの設定



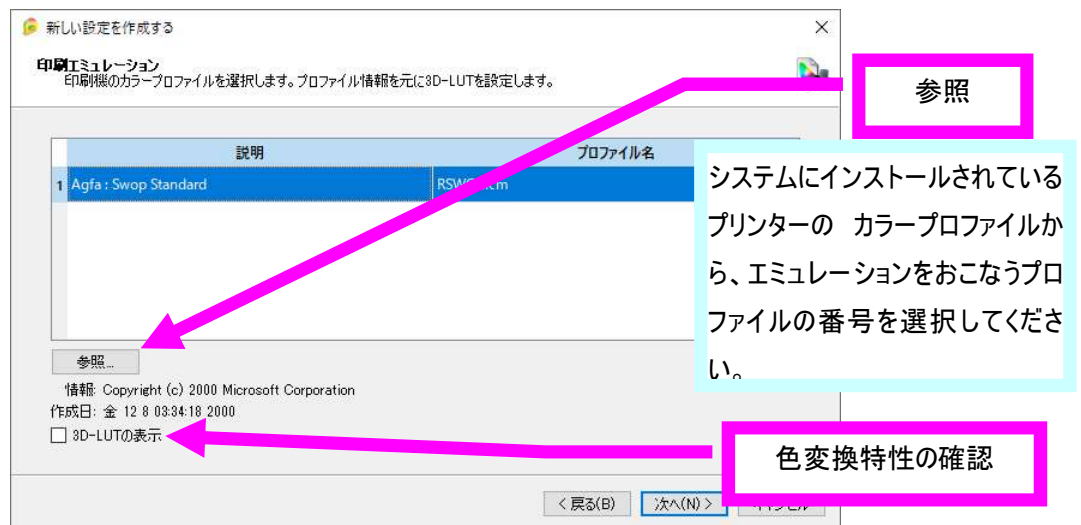
1.輝度調節つまみ	目標となる輝度に設定できます。つまみはキーボードの上下キーで細かく調節することができます。高輝度の設定の場合、ディスプレイの輝度が到達しない可能性があります。この場合、数値の下にアイコンが表示されます。
2.黒レベル調節つまみ	目標となる黒レベルに設定できます。つまみはキーボードの上下キーで細かく調節することができます。
3.外光補正	外光反射で画面が黒浮きしすぎないように、黒レベルの計算に外光センサー値を反映します。外光測定は出画時や画質変更時などに行われます。推奨はオフです。

これで設定は完了です。1-1.ピクチャーモード画面でピクチャーモードの選択、輝度、黒レベルの設定が反映されます。

3-3. 印刷エミュレーション(詳細設定)

プリンターのカラープロファイルを使ってディスプレイ内部で計算を行い、プリント出力の見た目に近づけます。

Step1.プリンタープロファイルの選択



(注意)ウインドウに表示されているプロファイルは、以下のフォルダに保存されています。

Win: %WINDOVS%system32%spool%drivers%color

Mac: %Users%”ユーザー名“%Library%ColorSync%Profiles

表示されているプロファイル以外のプロファイルをお使いになる場合は、参照ボタンを押してからご希望のプロファイルを選択してください。なお、印刷物以外のプロファイルの場合、正しく反映されないことがあります。

カラープロファイルをコピーする場合、管理者権限のアカウントが必要な場合があります。

色変換特性の確認をクリックすると、

レンダリングインテント、紙白シミュレート、ディスプレイの色域の設定を反映した 3D-LUT の状態を表示します。

Step2.レンダリングIntentの選択

新しい設定を作成する

レンダリングIntent

印刷機とカラーマッチングを行う際の設定です。印刷時と同じ設定を選択してください。

- 知覚的
- 彩度
- 相対的な色域を維持
- 絶対的な色域を維持
- 紙白と黒インキを再現する
- ディスプレイの色域: Full (Native)
- Adobe CMMを使用する
- 3D-LUTの表示

< 戻る(B)

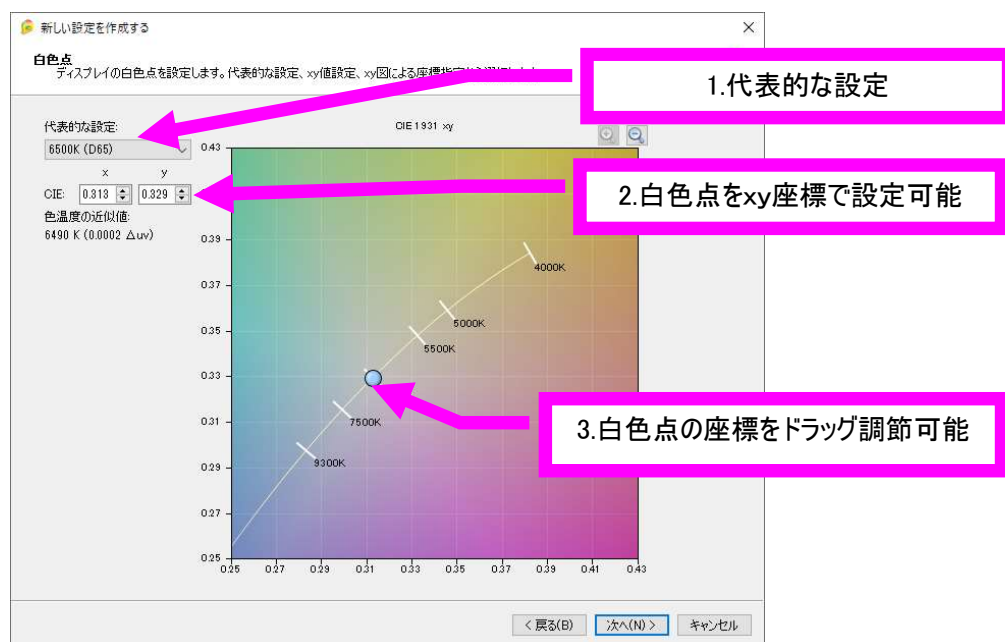
印刷機とカラーマッチングを行う際の設定です。印刷時と同じ設定を選択してください。

1.知覚的	色間の視覚的な階調性を維持します。日本の印刷業界で多く使われ、色域外の色が多く含まれる写真画像に適しています。
2.彩度	色の正確さよりも、画像の鮮明な色を再現することを重視します。明るい色使いが求められるグラフや図表などに適します。
3.相対的な色域を維持	「知覚的」よりも画像のオリジナル色に近い設定です。北アメリカおよびヨーロッパ地域の印刷業界で多く使われています。
4.絶対的な色域を維持	階調性や色の自然さよりも正確さを重視し、色変化が最小となるよう変換を行います。用紙による色変化の確認に適しています。
5.紙白と黒インキを再現する	印刷用紙による白色の変化、黒インキの濃さを再現します。推奨はオフです。
6.ディスプレイの色域	印刷エミュレーションを使用していないとき、通常使用している色域を選択します。たとえばディスプレイを sRGB モードで使用している場合、sRGB を選択します。
7.Adobe CMM を使用する	システムの標準カラーマネジメントモジュールではなく、Adobe CMM を使って 3D-LUT を作成します。インストールされていない場合は選択できません。
8.色変換特性の確認	レンダリングIntent、紙白シミュレート、ディスプレイの色域の設定を反映した 3D-LUT の状態を表示します。

※Adobe CMM については、以下の URL からダウンロードができます。

<http://www.adobe.com/downloads/>

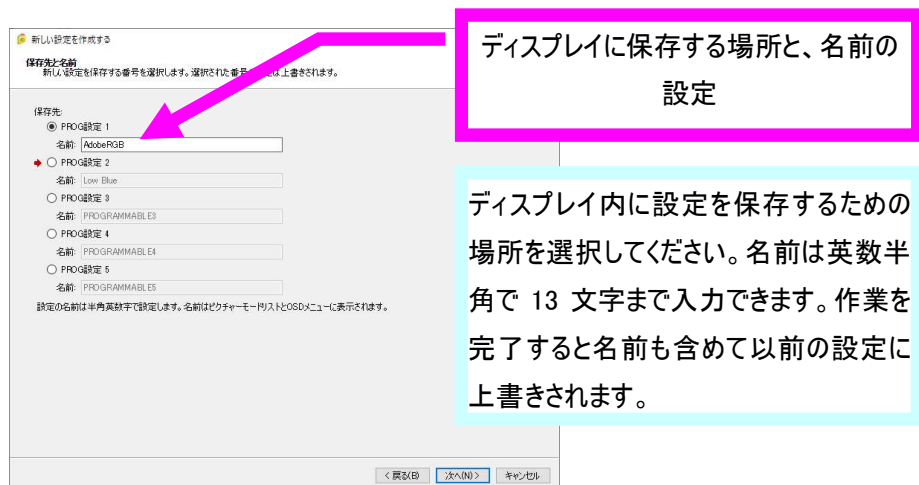
Step3.白色点の設定



1.代表的な設定	4500K, 5000K, 5500K, 6500K, 7500K, 9300K および A, B, C, E 各光源および DICOM Clear, DICOM Blue, DICOM Clear(Legacy), DICOM Blue(Legacy)から選択
2.xy 値	白色点の座標を 0.001 単位で設定できます。
3.グラフ内座標	CIExy グラフ内の白色点の座標をドラッグ調節することができます

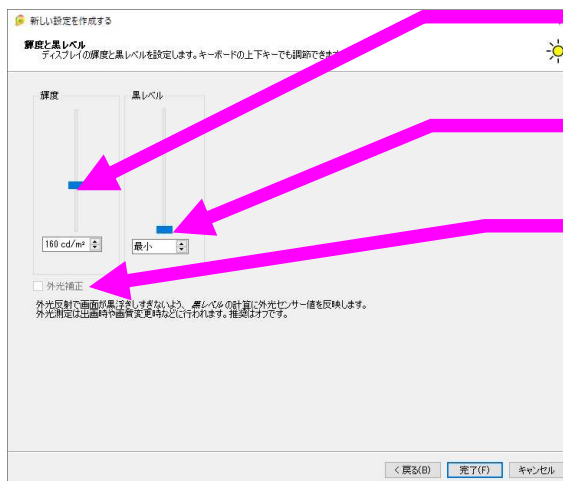
※白色点で 7500K を選択した場合、DICOM Clear に設定されます。

Step4.名前の登録



※保存できる設定数は機種によって異なります。

Step5.輝度、黒レベルの設定



1.輝度調節つまみ

2.黒レベル調節つまみ

3.外光補正

1.輝度調節つまみ	目標となる輝度に設定できます。つまみはキーボードの上下キーで細かく調節することができます。高輝度の設定の場合、ディスプレイの輝度が到達しない可能性があります。この場合、数値の下にアイコンが表示されます。
2.黒レベル調節つまみ	目標となる黒レベルに設定できます。つまみはキーボードの上下キーで細かく調節することができます。
3.外光補正	外光反射で画面が黒浮きしすぎないように、黒レベルの計算に外光センサー値を反映します。外光測定は出画時や画質変更時などに行われます。推奨はオフです。

これで設定は完了です。1-1.ピクチャーモード画面でピクチャーモードの選択、輝度、黒レベルの設定が反映されます。

3-4. フィルムエミュレーション

映画フィルムのカラーエフェクトなど、画像編集ツールの特性をディスプレイの 3D-LUT に設定します。

Step1.名前の登録

ディスプレイに保存する場所と、名前の設定

ディスプレイ内に設定を保存するための場所を選択してください。名前は英数半角で 13 文字まで入力できます。作業を完了すると名前も含めて以前の設定に上書きされます。

※保存できる設定数は機種によって異なります。

Step2.3D-LUT 設定の開始

新しい設定を作成する

フィルムエミュレーション

以下の手順に従い、ディスプレイに3D-LUTを設定します。

ステップ1: 設定の開始

- 新しい設定を作成する
- 現在の設定を編集する

現在の3D-LUT設定をディスプレイから読み出します。

ステップ2: 3D-LUTを画像に変換する

名前を付けて保存...

ステップ3: 画像編集ツールで画像を読み込み、映画フィルムのLUT特性などを適用する

画像編集ツールでステップ2のファイルを開き、画像の色を変更して目的の色特性を適用します。彩度、色相、レベル、3D-LUTなど、他の画像と同じ調整手順を適用してください。調整では白色点または黒点を修正し、これらの調整は別に行います。色以外の調整(シャープまたはガウスぼかし)を適用しないでください。終了したら、変更したファイルを同じ形式で保存します。

- 3D-LUT オフ
- 3D-LUT オン

ディスプレイの3D-LUT設定を一時的にオフします。画像編集ツールの色を確認できます。

ディスプレイに設定されている3D-LUT特性です。画像への変更はまだ反映されていません。

ステップ4: LUT特性を適用した画像を選択し、3D-LUTに変換する

参照...

ステップ5: 次へをクリックし、変換した3D-LUTをディスプレイに設定する

ステップ 1.
設定の開始

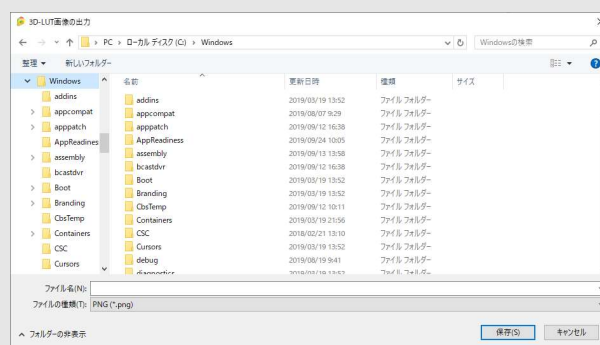
カラーエフェクトの開始点を選択します。

新しい設定を作成する: 通常はこちらを選択してください。3D-LUT の初期設定です。

現在の設定を編集する: 過去に設定した 3D-LUT を微調節する際に選択します。現在の 3D-LUT 設定をディスプレイから読み出します。

ステップ 2.

3D-LUT を画像に変換する



選択した 3D-LUT 設定を画像データに出力します。画像ファイルの名前と場所を指定してください。

ステップ 3.

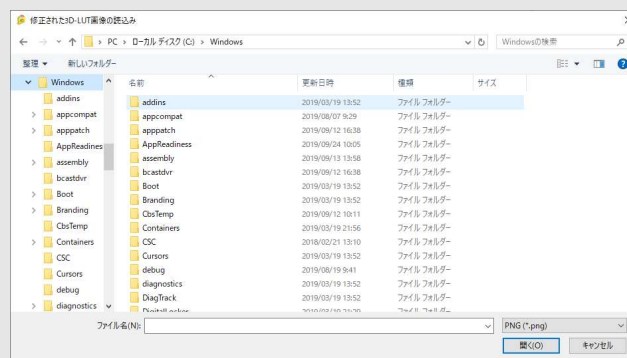
画像編集ツールで画像を読み込み、映画フィルムの LUT 特性などを適用する

画像編集ツールでステップ2のファイルを開き、画像の色を変更して目的の色特性を適用します。彩度、色相、レベル、3D-LUTなど、他の画像と同じ調整手順を適用してください。調整では白色点または輝度を変更しないでください。これらの調整は別途行います。色以外の調整（シャープまたはサイズ変更など）を適用しないでください。終了したら、変更したファイルを同じ形式で保存します。

作業中に画像編集ツールの色を確認する際は、ディスプレイの3D-LUT設定を一時的にオフできます。

ステップ 4.

LUT 特性を適用した画像を選択し、3D-LUT に変換する



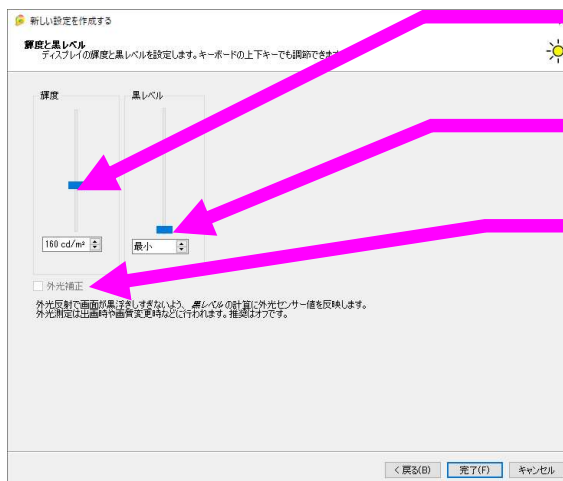
ステップ3で調整した画像ファイルを選択し、3D-LUT設定に変換します。画像ファイルの名前と場所を指定してください。

ステップ 5.

次へをクリック

次へ をクリックすると、変換した3D-LUTをディスプレイに設定します。数十秒お待ち下さい。設定後に画面色を確認し、希望とは異なる場合 戻る をクリックして ステップ3以降を繰り返します。

Step3.輝度、黒レベルの設定



1.輝度調節つまみ

2.黒レベル調節つまみ

3.外光補正

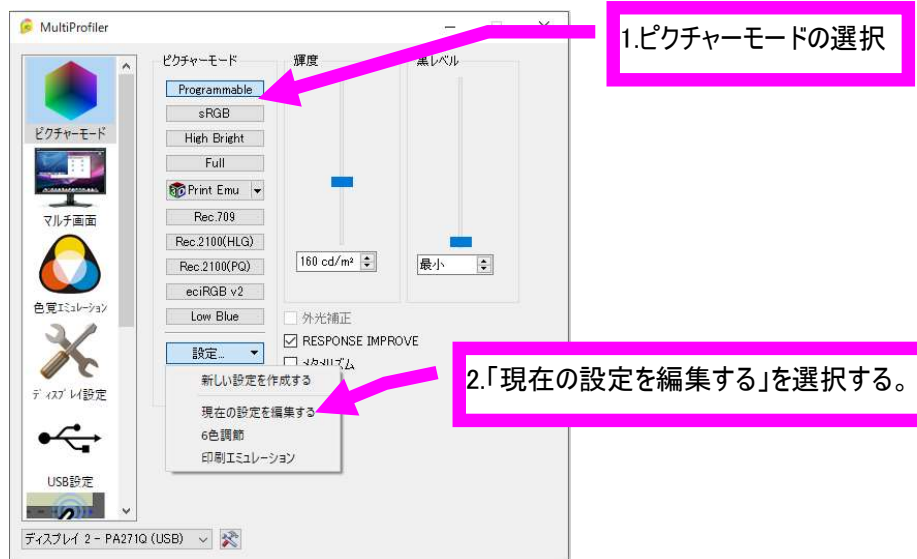
1.輝度調節つまみ	目標となる輝度に設定できます。つまみはキーボードの上下キーで細かく調節することができます。高輝度の設定の場合、ディスプレイの輝度が到達しない可能性があります。この場合、数値の下にアイコンが表示されます。
2.黒レベル調節つまみ	目標となる黒レベルに設定できます。つまみはキーボードの上下キーで細かく調節することができます。
3.外光補正	外光反射で画面が黒浮きしすぎないように、黒レベルの計算に外光センサー値を反映します。外光測定は出画時や画質変更時などに行われます。推奨はオフです。

これで設定は完了です。1-1.ピクチャーモード画面でピクチャーモードの選択、輝度、黒レベルの設定が反映されます。一部機種では、設定した 3D-LUT のオン/オフを 1-1.ピクチャーモード画面で切替できます。

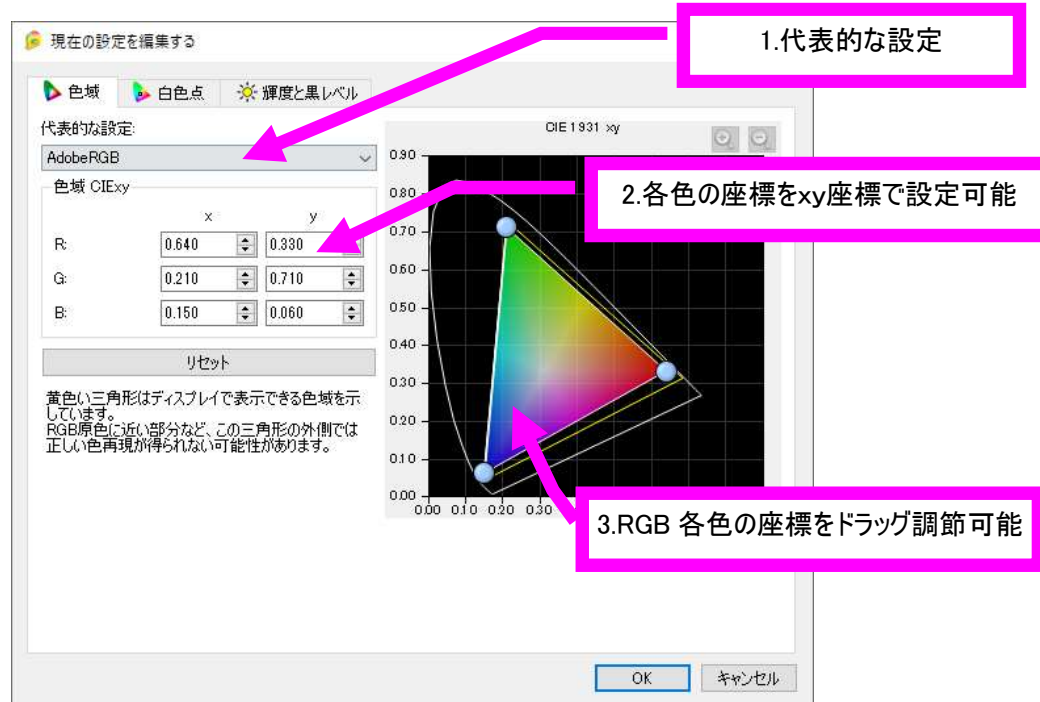
3-6. 現在の設定を編集する

現在の色域、輝度、白色点を個別に微調節することができます。この結果はカラープロファイルに反映されます。

Step1.個別調節の選択



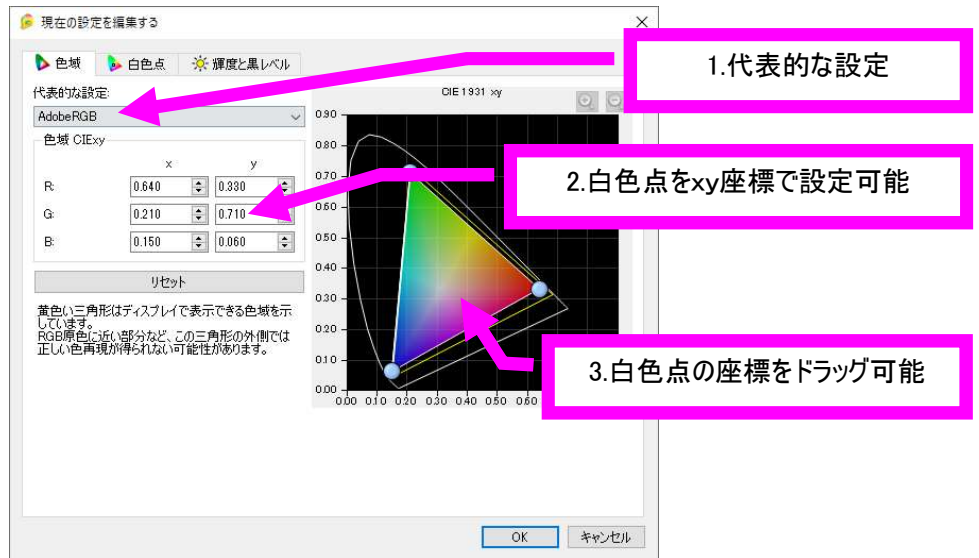
Step2.色域を調節する。



1.代表的な設定	選択したプロファイルを元に色域が表示されます。リセットボタンを押すと、リセットボタンを押すと、以前に設定した状態に戻ります。
2.赤青緑 xy 値	各色の座標を 0.001 単位で設定できます。
3.グラフ内座標	CIExy グラフ内の赤青緑各座標をドラッグ調節することができます

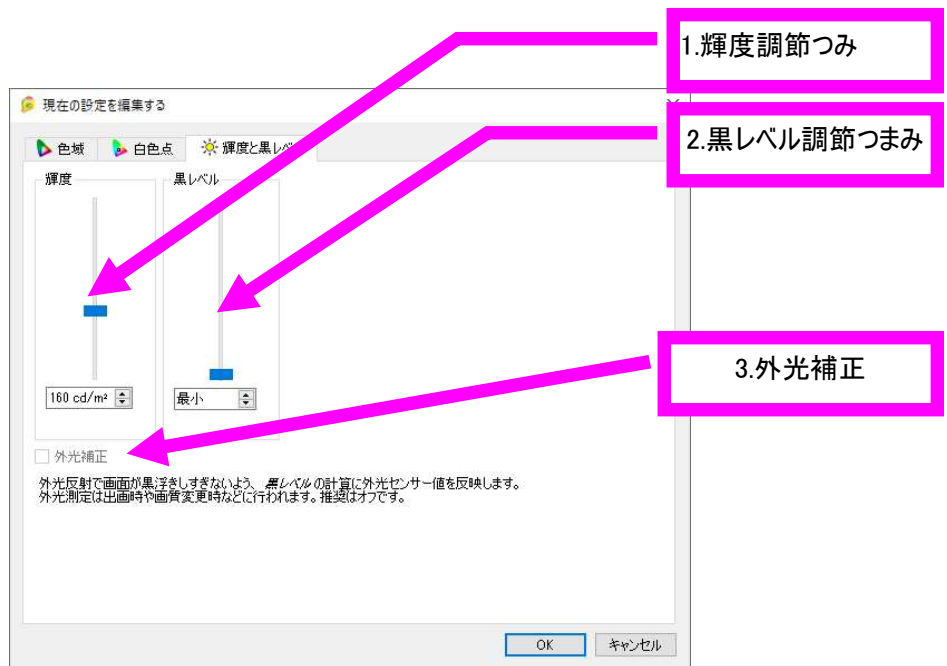
※印刷エミュレーションが設定されている場合、色域の個別調節はできません。3-5. 6 色調節をお使いください。

Step3. 白色点を調節する



1.代表的な設定	4500K, 5000K, 5500K, 6500K, 7500K, 9300K および A, B, C, E 各光源および DICOM Clear, DICOM Blue, DICOM Clear(Legacy), DICOM Blue(Legacy)から選択
2.xy 値	白色点の座標を 0.001 単位で設定できます。
3.グラフ内座標	CIExy グラフ内の白色点の座標をドラッグ調節することができます

Step4. 輝度を調節するま



1.輝度調節つまみ	目標となる輝度に設定できます。つまみはキーボードの上下キーで細かく調節することができます。高輝度の設定の場合、ディスプレイの輝度が到達しない可能性があります。この場合、数値の下にアイコンが表示されます。
2.黒レベル調節つまみ	目標となる黒レベルに設定できます。つまみはキーボードの上下キーで細かく調節することができます。
3.外光補正	外光反射で画面が黒浮きしすぎないように、黒レベルの計算に外光センサー値を反映します。外光測定は出画時や画質変更時などに行われます。推奨はオフです。

これで設定は完了です。1-1.ピクチャーモード画面でピクチャーモードの選択、輝度、黒レベルの設定が反映されます。

3-5. 6色調節



色相(H)

彩度(S)

明度(L)

以下の6色について、色相(H)、彩度(S)、明度(L)を微調節できます。

印刷物との色合わせなどにお使いいただけます。

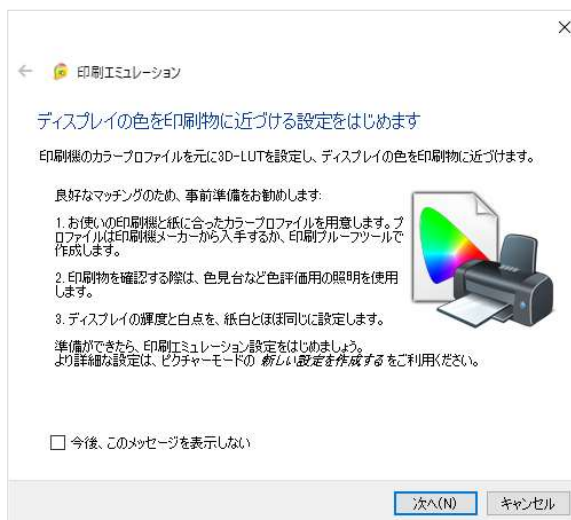
この調節結果はカラープロファイルへは反映されません。また、白色点は変化しません。

色相(H)	6色それぞれについて色合いを調節できます。
彩度(S)	6色それぞれについて色の濃さを調節できます。値を大きくすると選択している色が鮮やかになります。
明度(L)	6色それぞれについて明るさを調節できます。値を大きくすると選択している色が明るくなります。
リセットボタン	調節した結果を6色調節前の状態に戻します。
OKボタン	OKボタンを押すと、この設定を保存します。このとき、新しいターゲットファイルを保存することができます。
キャンセルボタン	キャンセルボタンを押すと、調節した結果を保存せず、調節ウインドウを開いた直後の状態に戻ります。

3-7. 印刷エミュレーション

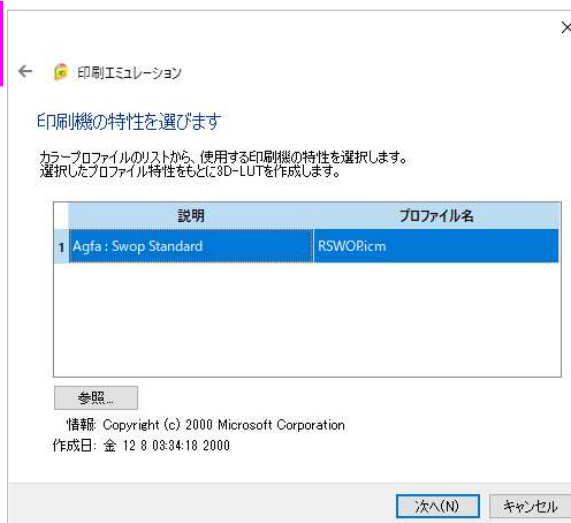
選択されたピクチャーモード設定を元に 印刷物とのカラーマッチングを実現します。

イントロダクション



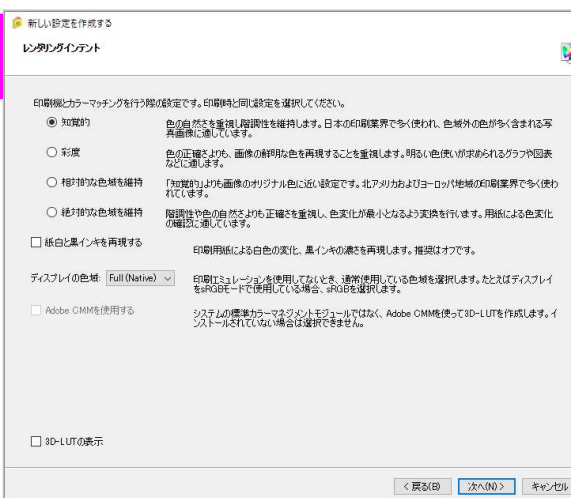
印刷エミュレーションのイントロダクション画面です。次回必要ない場合、表示ないように設定ができます。

プリンタープロファイルの選択



印刷エミュレーションを実施したいプリンタープロファイルを選択します。

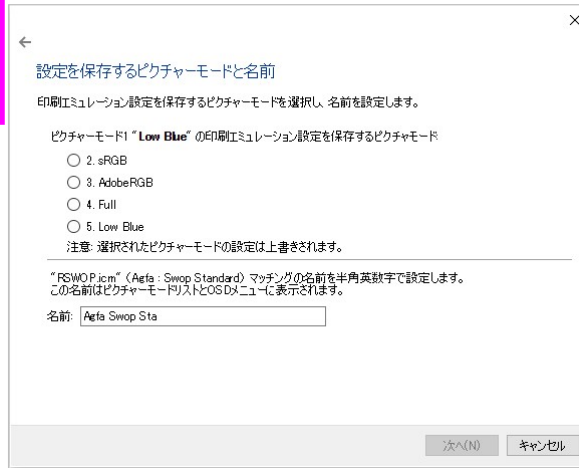
カラーマッチング方法の選択



カラーマッチング方法を選択します。

推奨設定は「相対的な色域を維持」、紙白と黒インキをシミュレートのチェックはオフです。

エミュレーション結果の保存 先の設定



設定を保存するピクチャーモードと名前

印刷エミュレーション設定を保存するピクチャーモードを選択し、名前を設定します。

ピクチャーモード1 "Low Blue" の印刷エミュレーション設定を保存するピクチャーモード

2. sRGB

3. AdobeRGB

4. Full

5. Low Blue

注意：選択されたピクチャーモードの設定は上書きされます。

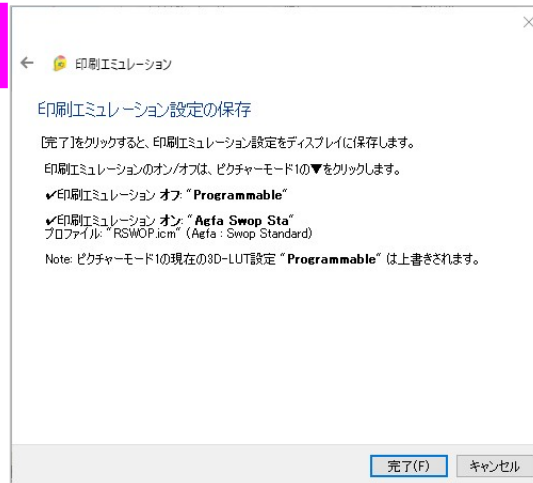
"RSWOP.icm" (Aefa: Swop Standard) マッチングの名前を半角英数字で設定します。
この名前はピクチャーモードリストとOSDにニューに表示されます。

名前:

次へ(N) キャンセル

印刷エミュレーションの保存場所を選択します。ピクチャーモードの名称は半角整数を使うことができます。

設定の確認



印刷エミュレーション

印刷エミュレーション設定の保存

[完了]をクリックすると、印刷エミュレーション設定をディスプレイに保存します。

印刷エミュレーションのオン/オフは、ピクチャーモード1の▼をクリックします。

✓印刷エミュレーション オフ: "Programmable"

✓印刷エミュレーション オン: "Aefa Swop Sta"
プロファイル: "RSWOP.icm" (Aefa: Swop Standard)

Note: ピクチャーモード1の現在の3D-LUT設定 "Programmable" は上書きされます。

完了(F) キャンセル

設定内容の確認が表示されます。完了ボタンを押すことで印刷エミュレーションを実行します。
元のピクチャーモードと切り替えることで、元画像と印刷イメージの比較ができます。

4. MultiProfiler のエラーメッセージ

エラーメッセージ	説明
<p>対応ディスプレイが接続されていません。</p>	<p>MultiProfiler が対応していないディスプレイです。対応機種をご確認ください。</p>
<p>カラープロファイル【フォルダ名/プロファイル名】を更新できませんでした。現在のファイルがロックされているか、必要なアクセス権がありません。</p> <p>Windows 画面のプロパティまたはフォトビューアーが開いていれば、閉じてください。エクスプローラーで現在のファイルを選択して削除するか、プロパティから「読み取り専用」のチェックを外してください。解決しない場合は、MultiProfile.exe のプロパティを開いて互換性タブから特権レベルの変更をしてください。</p>	<p>複数の原因が考えられます。</p>  <p>1Windows 画面のプロパティやフォトビューアーアプリが開いていれば、閉じてください。</p> <p>2.既存のカラープロファイルのプロパティから「読み取り専用」のチェックを削除する。またはカラープロファイルを削除してから再度作業してください。</p> <p>保存先を開くボタンをクリックすると、カラープロファイルの保存フォルダを開きます。</p> <p>3.MultiProfiler のアクセス権限を変更してみてください。</p>  <p>①MultiProfiler.exe を右クリックしてプロパティを選択して、互換性のタブを開いてください。</p> <p>②特権レベルの【管理者としてこのプログラムを実行する】にチェックを入れて適用ボタンを押してください。</p> <p>③MultiProfiler を再度実行してください。</p>
<p>カラープロファイルを保存できませんでした。カラープロファイルの保存フォルダに書込許可があることをご確認ください</p>	<p>ピクチャーモードの設定と OS のカラープロファイルの設定が一致していません。ログインされているユーザーに対してカラープロファイルの保存先フォルダの書き込み許可をおこなって、もう一度ピクチャーモードを選択してください。</p>
<p>カラープロファイルを設定できませんでした。</p>	<p>ピクチャーモードと OS の設定が正しくできていません。一旦別のピクチャーモードを選択して、もう一度ご希望の設定を選択してください。</p>
<p>最新版の情報を取得できませんでした</p>	<p>MultiProfiler の最新版情報が取得できませんでした。この機能を使用される場合には、ネットワーク環境が必要です。</p>
<p>ディスプレイが非対応のため、一部のピクチャーモードをインポートすることができませんでした。詳しくは取扱説明書ご確認ください。</p>	<p>エクスポートデータにインポート先のディスプレイでサポートできない画質設定が含まれていました。(画質設定で選択できない設定)必要な場合、個別に手動で設定してください。</p>